はじめに

関東で**人気と伝統のある有名難関私大**に合格するための現代文対策講座です。メイン・ターゲットとして、**上智大・明治大・青山学院大・立教大・法政大・中央大・学習院大**を想定しています。

まず、これらの大学の現代文試験にて出題される文章は、**良質で、扱われているテーマにおいてモデルになるような文章**が多いと言えます。**それぞれの学問分野、学界にて注目の筆者**の手によるものであり、読書的な価値も高いと言えるものです。また、設問も、空欄補充、傍線部説明、記述、全体の主旨の理解など**総合的に現代文の読解力を問うもの**で、よく練られた良問が多いのが特徴です。奇問は少ない。入試の質にはその大学の面子がかかっていますから。なお、文章の量と難易度、設問の量と難易度も、ごく一部を除き、メイン・ターゲットの各大学は違いよりも共通点の方が多いと言えるでしょう。

そのため、上記のメイン・ターゲット内で併願する際にも、大学・学部を問わず共通の練習になります。さらにはこのターゲット以外を受験する上でも、この講座は恰好（かっこう）の練習素材を提供することになります。

なお、**やや特別な傾向**をもつものとして、**上智大経済学部・明治大法学部の「近代文語文」**が挙げられます。**【トップ＆ハイレベル現代文】【スタンダードレベル現代文】**など既存の通年講座では扱っていないため、本講座の第二講で取り上げています。こうした「近代文語文」を課す大学としては、早稲田大（政治経済学部・文化構想学部）、一橋大などがあります。今回のメイン・ターゲットではありませんが、これらの大学の受験を考えている受験生は第二講を練習素材にしてください。なお、**【早稲田大学現代文対策講座】**の第二講・第六講で、「近代文語文」を取り上げています。こちらも参照してください。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ノートの取り方

テキストへの書き込みが基本です。赤／青／緑（黒板では緑ですが、第三の色であれば何色でもＯＫ）の三色をご用意ください。文章の対比を色分けして塗っていきます。主役キーワードが赤、敵役キーワードが青、脇役キーワードが緑です。

解法の手順……文章（論説も小説も）は、すべて対比とその言い換えの連鎖からできている。そうであるならば……

少しでもはやく確実に読解するために

1　本文末の**書名＝タイトルをみる**　→　**テーマが判明**することが多い。さらには、「○○と△△」というようにいきなり**対比発見のてがかり**をくれることもある。

2　**設問の傍線部と問題文**をざっと読み、キーワードの見当をつける（**設問は本文のキーワードにかかわることが多い**）。タイトルの次は「キャスティング＝配役＝誰が出演するのか」に注目する。本編の前に「エンドロール」を見てしまう感じです。ただし**選択肢まで読んではダメ**。五択で四つは誤りの選択肢なのだから、先に読むと歪んだ先入観ができてしまう。もっとも全選択肢の書き出しが共通ならば、そこは先に見てもよい。

3　**本文最後の数行をさきに**目を通し、テーマおよび結論、キーワードと対比の見当をつける。

4　**本文を冒頭から読み**、設問の傍線部や空欄にあたるたびに、選択肢を読み、その時点でしぼれるものはしぼる。ただし問いの約半数は全文を読みとおさないと解答できないから、読んでいる途中で判断できないものは先送りにする。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

記述式問題解答へのガイドライン

1　**字数指定の八割以上**書くことがのぞましい（「五十字以内で説明せよ」という設問なら四十字以上書く）。なお、指定字数の半分（五割）に満たない場合は、採点の対象とならないことが多い（つまり0点）

2　記述解答の採点は、**原則的に加点制（ポイント制）**である（キーワード・キーフレーズごとに得点を与える。つまり、余分なことを書いたとしても減点はされないのが普通だから、字数の許す限り、重要と思った語句を記入してやる）

3　**誤字・脱字・略字**はそれぞれ減点される（とくに略字は印象悪いよ！）

4　**「理由はなにか」「なぜか」**などの問いかけに対しては、「〜から。」「〜ので。」「〜ため。」など理由を示す語でしめくくる。そうでないと減点。逆に、理由を求めている設問ではないのに「から」「ので」「ため」でしめくくると減点だよ

その他解答欄・解答用紙に関する諸注意

a

	人	間	は	…

→　※**「原稿用紙」ではなく「解答欄」**だから最初のマスを空ける必要はない

b

…	…	…	こ	と

→　※**句点なし！**（減点）
設問文に「句読点も字数にかぞえる」とある場合、文末には必ず句点（。）をつける。句読点をかぞえるという指摘がない場合でも、「説明終わり」の印として句点（。）をつけるのが原則。ただし、「抜き出せ」という設問の場合は、当然本文のまま（余分なものはつけない）

c

…	…	…	こ	と。

→　※**句読点は一文字分！**（減点）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

より本質的な記述問題への解答の仕方〈答案に盛り込むべき要素〉

> ○具体例は原則としてカット。よりまとまった表現を解答に盛り込むべし！
> ○対比の表現（AではなくBである）！
> ○繰り返し、言い換えられている表現は大事。ただし一本化！

抜き出し問題の諸注意……「語」「語句」「一文」などと表記されているものの範囲について

○「語」＝「一単語」・「ワン＝ワード」・「一品詞」（ただし「一文字」とは限らないからね！）

○「語句」＝複数の単語もありうる。「語」よりも広い概念。「部分」と表記されることもある。

○「一文（文）」＝句点（。）で区切られるまとまり。

語 ⇐ 心身
語句 ← 心身の一体性

（例）［心身の一体性、すなわち、身体が真に身体としてあるとき、身体は「外部」的ではない。］この考察は、「道具」を見直す契機になる。

［一文・文］⇒ 心身の一体性、すなわち、身体が真に身体としてあるとき、身体は「外部」的ではない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

誤りの選択肢の典型例一覧　〈誤りに名前をつけられるほどのパターンがある！〉

1 **対比混乱の誤り**……本文中で**対比・区別**されていることばを同種のものとして扱ってしまっている誤り。あるいは、主役キーワードの説明を求めている設問で、敵役キーワードを挙げている誤り。**キーワードのグループ分け失敗**の選択肢といってもいい。

2 **同一性分断の誤り**……本文中で同種のことばを対比であるかのように扱ってしまっている誤り。これも**キーワードのグループ分け失敗**。**同質性分断**ともいう。

3 **正しい対比喪失の誤り**……本文中で**「A↔B」**という対比で記述されているのに、無関係な「C」という要素を勝手にもちこんだり、**「C↔D」**といった本文にない対比をもちこんでいる誤り。例えば、本文は**「善↔悪」**という対比で書いているのに、「美」や「醜」という無関係な対比をもちこみ、本文の正しい対比を見失っている誤り。

4 **不当な全称判断**……本文中の記述がないのに、**「すべての○○は」「あらゆる○○は」**と勝手に拡張している誤り。類似した誤りとして**不当な一般化**があります。例えば本文では「バラ」という個別のものに焦点を当てているのに、「花というものは」などと拡張している誤り。

5 **不当な限定判断**……本文中の記述がないのに、**「○○のみ」「○○だけ」**と勝手に縮小してしまっている誤り。類似した誤りとして**不当な矮小（わいしょう）化**があります。例えば本文では「人間関係全般」について書いてあるのに、「近所づきあい」の次元を書いている選択肢。話を不当にちっぽけにしているわけです。

6 **不当な価値判断**（不当な当為（とうい）判断）……本文では「○○である」「○○だ」という事実判断をしているのに、**「○○であるべきだ」「○○にしなければならない」「○○する必要がある」**と勝手に改変してしまった誤り。またAとBの特徴の比較をしているだけなのに、**Aの方が優れているといった優劣を持ち込んだ**選択肢の誤り。特に論文を読んだり書いたりする上で、「事実判断と価値判断（当為判断）」との違いには気を使う必要があるんだよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7 **部分的指摘の誤り**

……本文中では、「**AとともにB**」「**Aと同時にB**」「**AしかもB**」と追加表現がなされているのに、「A」だけ、あるいは「B」だけを扱ってしまっている誤り。本文の記述にまったく反しているわけではないため、「高度な」誤りといえます。こういうものに気づけるようになることが、現代文での高得点のカギだよ。

8 **記述に反する誤り**

……文字通り、本文中の記述に真っ向から反する選択肢。例えば本文では「AはBである」としているのに「AはBではない」としている誤り。

9 **記述なしの誤り**

……文字通り、本文中の記述にはいっさい書いてない内容を勝手にのせている選択肢。ただし、「本文の記述に反しているものを選びなさい」といった間違い探しの設問のとき、本文には書いてないだけで、間違いとはいえないということがあるから注意。つまり、「誤り」としては1〜8・10〜12のほうが深刻な誤りといえ、そちらを優先する。

10 **文脈喪失の誤り**

……文章中で特定の意味づけをして使っていることばを、**文脈外の「常識」や辞書的な意味**で扱ってしまっている誤り。例えば、「飛躍」ということばを、本文は「行き過ぎ」「誤解」という意味付けをして記述しているのに、勝手に「発展」「前進」というようにとらえてしまっているもの。

11 **物理的スリカエの誤り**

……**心理や気持ちを問うている設問で、物理的に説明している選択肢**。小説問題の選択肢としてよく出ます。例えば「暗い気持」を天候や日照量の説明にしてしまっている誤り。

12 **比喩を文字通りに解釈した誤り**

……本文中で、たとえになっている表現（擬人法もふくむ）を文字通りにとってしまった選択肢の誤り。比喩は立派な表現技法です。これをリアルに解釈するとずいぶんおかしなことになります。例えば「いやー、歩きつかれちゃって、膝(ひざ)がわらってるよ」なんて表現があるけど、ホントに笑ったら怖い！

13 **具体例は、一段、落ちる**

……具体例を挙げている選択肢は、「最も適当」な選択肢を選ぶ際には、選びたくない。もっとまとまった語句を盛り込んでいる選択肢が正解になる。

14 **比喩による説明は、一段、落ちる**

……たとえで説明している選択肢は、「最も適当」な選択肢を選ぶ際には、選びたくない。もっと明示的な語句を盛り込んでいる選択肢が正解になる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

予習の仕方

……必ず予習しましょう。映像講義を視聴しているだけでは、解答力は身に付きません。その上で、以下のようなプランが考えられますが、プランCをオススメします。

プランA……映像授業を見る前にまず、自力で解答する
プランB……映像のチャプター1（タイトルと設問条件解説・最終段落先取り読み）まで見てから映像を止めて、解答する
プランC……第一講までプランBで、解法の手順をしっかり学んだ後、第二講からプランA
プランD……現代文があまり得意ではない方は、第二講以降、AとBを交互に繰り返す。例えば、偶数の講義ではプランA、奇数の講義ではプランBというように

予習の時間

＝問題にアタックする演習時間

各講二〇分が基本です（ただし、以下のようなアレンジも可能です。パターンCがオススメです）。

パターンA……右の基本時間通り
パターンB……時間設定にとらわれず、納得いくまで解答する
パターンC……基本時間通りで解答する講と、じっくり納得いくまで解答する講を交互に繰り返す。時間設定を気にするあまり、読み方や解法が雑になっては元も子もありません。かといって悠長に構えすぎてもダメ。本来入試は時間限定付きですから。そこで、じっくり解く回と本番を想定した回を交互に組み合わせましょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目標得点……配点はしてありませんから、その講義ごとに、全何題中いくつできたのか、という得点率
（例えば第四講なら全部で解答箇所が十七ありますから、十一以上が正解なら六十五％以上の得点率で目標クリア）

○　第一講〜五講……　**六十五％以上**
○　復習問題…………　**八〇％以上**

復習の仕方について

予習と授業が柱ですが、復習するなら……

設問をもう一度解き直すというタイプの復習はオススメできません。勉強したような気になるだけで、現代文の場合、発展的な学習とは言えない。現代文入試問題での読解力・解答力を向上させるためには、同じ問題を解き直すのではなく、授業をモデルとして、問題集などで新しい問題に次々チャレンジしていきましょう。スタディサプリでも多くの講座が用意されています（メイン・ターゲット校の過去問を使っている講をまとめたページがあります。参考にしてください）。その文章・設問も、対比で読める・解けるようにする訓練を続けることが有効です。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

おすすめの問題集

『私大編　現代文のトレーニング　改訂版』（Z会出版）
『入試現代文へのアクセス　発展編』（河合出版）
『入試現代文へのアクセス　完成編』（河合出版）
『入試精選問題集　現代文』（河合出版）

教材選定について

- 関東難関私大の過去問の中から良問をセレクト
- 関東難関私大の現代文対策のモデルとなる設問をセレクト。アタックすることを通じて解答力を高められる設問ばかり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

既存の通年講座の該当箇所（上智・学習院・明治・青山学院・立教・法政・中央の問題を使用している箇所）

――こちらも合わせて活用してください――

高３　トップ&ハイレベル現代文

第三講《情報化社会論》　**第四講**《近代化論》
第七講《歴史論》　**第十三講**《弁証法》

高３　スタンダードレベル現代文

第二講《異文化理解論・文化人類学》　**第十講**《日本語論》
第十三講《民俗学》　**第十四講**《異文化理解論》
第十五講《家族論》　**第十七講**《戦争論》
第十九講《都市論・故郷論》　**第二十講**《文学論・文芸論》
第二十三講《日本文化論・建築論》

高１・高２　現代文

第二講《芸術論・日本文化論》　**第五講**その１《随筆　旅論》
第七講《随筆　宗教論》　**第九講**その１《哲学論》
第九講その２《文学論》　**第十三講**その１《趣味論・工芸論》

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

目　次

第一講　家族論・自己責任論……p.12
第二講　随筆（近代文語文）……p.20
付録（近代文語文）……p.31
第三講　言語論……p.36
第四講　日本文化論・弁証法……p.42
第五講　認識論・現代社会論……p.48

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　家族論・自己責任論

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

新聞の家庭欄の連載で「自己責任」に関する奇妙な用法をみつけました。まず、身近と思われる男女関係の問題に現れた「自己責任」という言葉から、考えてみることにしましょう。

> 山一証券だってつぶれるご時世、ブランド会社に入社しても一生安泰ではないことを、結婚に置き換えてみたらよくわかると思うんです。（中略）永遠に続く愛情なんてありません。結婚に対する社会や意識の制約が取り除かれれば、離婚や再婚が増えるのは当然です。そういう状況で求められる自己責任は、精神力と経済力。「夫に頼ればいい」から「自分の人生は自分で切り開く」への発想転換です。（中略）
>
> 恋愛という名の自由競争に突入すれば、男も女もうかうかできません。結婚しても危機感がつきまとうわけですから。三食昼寝つきの生活、おばさん化なんてしていられませんよ。（林真理子、一九九八年一月一日付「朝日新聞」）

就職と結婚を同等視する見方が出てきました。Ａ「恋愛という名の自由競争」という言葉もあります。結婚相手をつかまえておけなければ、敗北で、それも「自己責任」だという考え方でしょう。家庭と会社（工場）とを同じレヴェルで見る考え方は、今世紀初めのアメリカ合衆国に現れた考え方です。

アメリカという移民国家は、家族の長い歴史を持った各国と違って「家」という安定的な空間のない社会です。その国では、指導的な社会学者が「家族は人間の人格を生産する工場（ファクトリー）である」（タルコット・パーソンズ）と定義する事態も生まれます。あるいは工場管理法であるテーラー・システムを家庭の経営のなかに持ち込もうとする動きさえ今世紀初めには生まれていたのです。『家庭の効率』（一九一二年）という本のなかでは、「家庭は市民の生産のための巨大工場の一部である」と書かれております。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

家の歴史のない米国だからこそ、近代社会で生み出されたにすぎない B「恋愛結婚」イデオロギーが蔓延(まんえん)したのです。「父―母―子」という閉鎖的な近代的家族のみが家族形態として理想化されたといえるでしょう。

自由な恋愛というのは、根強い幻想です。たとえば、第二次世界大戦後、戦前の C家父長制的な「家制度」から解放された家族について論じた法学者川島武宜は、D「仲間型」の夫婦関係が増大することが、日本社会の民主化につながるのだと論じました。

友情が成り立つ社会では、多くの恋愛関係には、まず多かれ少なかれ友情関係が先だつであろう。いいかえれば、恋愛は「人間」としての相互の認識の上にはじめて成りたつことになるであろう。（中略）そのような社会においてはじめて男が女を「征服」したり、女が男にだまされたりすることがなく、たがいに理性をもつ自由な独立の意思の主体者として、自分の責任において恋愛することが可能となるのである。（『日本の社会と生活意識』）

「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立」するという戦後の憲法理念とは、確かに結びついております。別に私は好きな男女同士が結婚するというのがおかしいなどと言っているのではありません。また「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有する」（日本国憲法第二四条）という規定の背後に、戦前の旧民法下の「家制度」による青年男女への抑圧に対する明確な批判をみるがゆえに、その精神を尊ぶ気持ちはひと一倍あるつもりです。

しかし、結婚は、はたしてどの社会でも自由勝手なものでしょうか。なるほど、人を好きになるのは自由かもしれません。ただし相手がこちらに関心を持ってくれなければ、恋愛は成立しませんし、結婚となると、さらに壁が厚くなります。人は、生まれてから家族や親族を含む社会関係のなかで生きています。何かを決定するときも、選択するときも、決して自分一人の判断で決めているわけではないのです。だれかしらの情報・知識、助言を必ず念頭に置いているはずです。あるいは生まれて育ってきた過程で身につけた交友関係（ネットワーク）のなかで選択の条件を勘案する力を育ててきたはずです。決してどこからの情報も助言もいれず一人で結婚相手を決めていることなどはないはずでしょう。

フランスの社会学者ピエール・ブルデューは婚姻を E「婚姻戦略にのっとったゲーム」だとみなしています。戦略といっても、

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

理性的な計算や意識的なプログラムに基づくものと考えないでください。子どものころから、家や地域社会、学校、会社などで培われた、人間関係や家と家との関係を円滑に作り上げていくゲームの感覚に従って、手持ちカード（持っているさまざまな有利な条件）を考えて、婚姻を選択する思考方法のことを指すのです。

また、婚姻関係は、いやがおうでも、ある家族集団と別の家族集団とが協力関係のなかにはいることを示しています。たとえば、有賀喜左衛門などの仕事によれば、「結納」という習慣は、「ユイ」という密接な関係を持つ家族間もしくは数軒の組において行われる労働の互助交換を始めるにあたっての儀式だというのです。婚姻によってユイ関係を強化する意味で酒肴（しゅこう）の共同飲食が行われたのが、「結納」という習慣の始まりだったというのです。むろん、村の外の家との婚姻関係ではユイは結成できませんから、金品の贈答という形式に変わったわけです。

ですから、その社会集団間の関係が険悪であれば、その関係の修復が婚姻のためにクリアする条件となります。結婚する当人同士がさまざまな条件をクリアしてはじめて安定的な婚姻関係が成立するのです。

「［F］」という言葉は、ある意味で空語だというと、言い過ぎかもしれませんが、実は世界中どこにも存在しない事柄だと言っていいのです。

ウィリアム・シェイクスピアの『ロミオとジュリエット』（一五九五年）をみてみましょう。この有名な悲劇は、本当に若い二人の「恋愛」を主題として描いたものなのでしょうか。私は、「ロミオとジュリエット」の世界は、まぎれもなく［G］悲劇だと思っています。シェイクスピア研究者の間でもこの悲劇はあまり論じられるところが少ないようで、私が参考になるような論文や書物にまだお目にかかっておりません。

そもそも、この二人の少年少女（作中でジュリエットは、あと二週間で十四歳になるところだとされます）の「恋愛」行為は当人同士も死んでしまい、対立している双方の属する社会集団にとって大変な「わざわい」を生むのです。「自分の責任において」恋愛しているつもりが、属する社会集団にとってとんでもない悲劇を起こしてしまうとするなら、そのとき「自分の責任」とはいったい何を意味するのでしょうか。

たとえば、シェイクスピアと同時代人の思想家フランシス・ベーコンは、『随想集』第二版（一六一二年）に収められた「恋愛について」という文章のなかで言っています。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

恋愛を認めずにはいられない場合でも、それを抑制して、人生の重大な事柄や行動からすっかり切り離す人々は、最善を尽くすことになる。恋愛がいったん本務と衝突したが最後、それは人々の運命を乱し、そのために人々は、自分自身の目的にどうしても添えなくなるからである。

当時の考え方からいけば当然のことだと思いますが、シェイクスピアも基本的には同じ立場にあっただろうと推測できます。近代の恋愛至上主義こそが、現在の一般的な「ロミオとジュリエット」に対する印象を形づくっているのではないでしょうか。婚姻は、本来、人類の歴史のなかで「社会集団間の近隣友好関係維持」のための行為の一つでした。「女の流通」（レヴィ＝ストロース）であれ、男の移動であれ、そうした相互の人間の交流が、平和維持のための方法の一つであったことは、間違いのないところです。

（桜井哲夫（さくらいてつお）『〈自己責任〉とは何か』による）

問1　傍線A・B・C・D・Eの中で、本文の筆者が肯定的に使っている語句が一つある。それを記号で答えなさい。

問2　空欄［F］に入れるのにもっとも適当と思うものを左の中から選び、記号で答えなさい。

①　たがいに安定的な条件を満たす結婚相手として、自分の正直な感情を無視して恋愛する
②　たがいに自由な感情と判断力をもつ主体者として、人間関係や家と家との関係に配慮し恋愛する
③　たがいに協力関係にある家族集団の一員として、その協力関係をさらに強めるために恋愛する
④　たがいに理性をもつ自由な独立の意思の主体者として、自分の責任において恋愛する
⑤　たがいに険悪な関係にある社会集団の構成員として、その関係を修復するために恋愛する

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問３　空欄 G に入れるのにもっとも適当と思うものを左の中から選び、記号で答えなさい。

①「婚姻」が社会集団の合意形成を必要とするので、純粋な二人が自己の責任において社会集団の合意にしたがおうとして生まれた

②「婚姻」が社会集団の合意形成を必要とするのに、幼い無分別な二人が情念のおもむくままにそれを無理に突破しようとして生まれた

③「婚姻」が社会集団の合意形成と無関係なのに、幼いが分別のある二人が社会集団の意思とあくまで対決しようとして生まれた

④「婚姻」が社会集団の合意形成と無関係なのに、純粋で世間知らずの二人が自分の責任で社会集団の合意形成を求めたことで生まれた

⑤「婚姻」が社会集団の合意形成を必要としないのに、幼く無防備な二人がそれを誤解して自分の責任と考えたところに生まれた

問４　次の文章のうち、本文の筆者の考えと合致していると思うものを一つ選び、記号で答えなさい。

①「自己責任」という視点から就職と結婚を同等視するのは、日本とアメリカの社会の違いを無視しているので誤りだ。

②恋愛といっても、自己責任に基づかない単なる情念による恋愛では無責任であり、社会的に認めることはできない。

③人間は交友のネットワークの中でゲーム感覚により結婚相手を探すので、結婚も自己責任によるゲームだ。

④人はいつでもいくつかの社会関係の中で生きているので、結婚相手の選択にもそういった要素が影響を与えている。

⑤自由な恋愛はめったになく、それだけ貴重なものなので、古来シェイクスピアなどの名作のテーマとなっていた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　桜井哲夫＝さくらい　てつお（一九四九～）栃木県生まれ、東京外国語大学フランス語学科卒。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。社会学者

●林真理子＝はやし　まりこ（一九五四～）山梨県生まれ、日本大学芸術学部文芸学科卒。直木賞作家

●タルコット・パーソンズ（一九〇二～一九七九）ハーバード大学などで教鞭をとったアメリカを代表する社会学者

●川島武宜＝かわしま　たけよし（一九〇九～一九九二）岐阜県生まれ、東京大学法学部卒。末弘厳太郎（すえひろいずたろう）の指導をうける。法社会学者

●ピエール・ブルデュー（一九三〇～二〇〇二）フランスの社会学者。社会的地位や階層、職業による趣味や趣向の違いを研究した『ディスタンクシオン』が有名。元コレージュ・ド・フランス教授

●ウィリアム・シェイクスピア（一五六四～一六一六）イギリスを代表する劇作家。『ロミオとジュリエット』の他、『マクベス』『ハムレット』『ヴェニスの商人』など有名作品多数

●フランシス・ベーコン（一五六一～一六二六）イギリスの哲学者。主著『ノヴム・オルガヌム（新機関）』『ニューアトランティス』。「知は力なり」はベーコンのことば

●クロード・レヴィ＝ストロース（一九〇八～二〇〇九）フランスの人類学者。主著『悲しき熱帯』『構造・神話・労働』。元コレージュ・ド・フランス教授

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

語句

イデオロギー↓根本的なものの考え方。その人の行動に関わるほどの主義・主張

蔓延＝まんえん↓好ましくないものがはびこる、広がること

テーラー・システム↓アメリカの経営学者、フレデリック・テーラー（一八五六〜一九一五）が発案した効率的な生産や管理の方法

家父長制＝かふちょうせい↓戦前の父系重視の「家制度」。父が家長として家を支配し、長男がその財産も支配力も引き継ぐあり方

勘案＝かんあん↓さまざまなものを考えに入れること

至上＝しじょう↓この上ないもの、最上、最高（例）芸術至上主義

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第一講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）新聞の家庭ランを読む　①卵　②蘭　③欄　④覧　⑤乱

（イ）雑誌の連サイ記事を書く　①催　②載　③際　④栽　⑤採

（ウ）生活の安タイを望む　①耐　②体　③態　④泰　⑤退

（エ）条件により制ヤクされる　①訳　②役　③厄　④躍　⑤約

（オ）人間関係が閉サ的だ　①鎖　②査　③詐　④差　⑤佐

（カ）広大な大陸をセイ服する　①征　②聖　③制　④誓　⑤清

（キ）厳格な規テイに従う　①底　②定　③提　④帝　⑤呈

（ク）様々な事例をカン案する　①官　②観　③感　④肝　⑤勘

（ケ）会議を円カツに進める　①活　②喝　③渇　④滑　⑤割

（コ）関係がケン悪になる　①剣　②顕　③険　④検　⑤件

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　随筆（近代文語文）

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

僕は依然（やはり）湯島の下宿に住むで居た。室料の廉（やす）いのを取柄（とりえ）にわざと択（えら）むだ西向二階下便所側の三畳、夏暑くて冬寒く、所謂（いはゆる）熱時人を熱殺し寒時人を寒殺すると云（い）ふ瘧部屋（おこりべや）。三尺の縁（えん）の向ふは、猫の額程の庭に、二階から投げおとす鼻ふき紙、蜜柑の皮、竹の皮が（サ）年が年中狼藉（ろうぜき）と横（よこた）はつて、其（その）向ふが薪炭屋の物置。鬱陶（うつたう）しくて、寒くて、臭くて、騒々しくて困るが、併（しか）し僕が東京での初夢を結んだ芝口の宿屋などに比べては天壌（てんち）の相異があると云ふのは、前に云つた亭主の新七とやらが至（いたつ）て実体（じつてい）に、主婦はたきとかかきとか云つてはき〳〵したよく話の分る女、唯一（ひとつ）の癖はよく下婢（をんな）を更迭（かうてつ）するの一事で、現に僕が来てから一ケ月の間に下婢（をんな）の顔が十三度替つた位、仏蘭西（ふらんす）の内閣も中々及ばぬので、無給で下婢（をんな）を使ふ法を主婦が発見したかの様に 1 穿（うが）つた評判もあつたが、兎（と）も角（かく）も先づ手堅い下宿屋、加ふるに同宿の連中も、亭主の所謂「お堅い方ばかり」で、唯日曜や祭日の朝なぞ僕が配達から帰つてどれゆつくり一やすみと寝て居る頭の上で、二階も落つる様な相撲柔術のどたばたをやつたり、喫驚（びつくり）する程大音に失脚落来江戸城を怒鳴つたりするには聊（いさゝか）弱つたが、是迚（これとて）月琴端唄（はうた）や猥褻（わいせつ）の談で邪魔されるよりまだ幾干（いくら）か詮（あきらめ）がつく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

と云ふもの。此豪傑組の四人の外には、猫の様におとなしい医学生で国の許嫁(いひなづけ)の写真を始終懐中して居るとか云ふ男と、矢張り開業試験を受けに出京して居る未来の扁鵲(へんじやく)で胃が悪い〳〵と云ひながら鯣(するめ)嚙(かじ)つて酒飲むで急にビツトルを飲む人と、猶(なほ)他に四五人。唯一人、「悪いお方ではありませんが、滅多に金などお貸しなさいますな」と主人(あるじ)が注意して呉れた木村某と云ふ青年、長崎の者で高等中学を頻りに落第する男とか、東京馴れた愛嬌者、僕が下宿へ来て二日目に「君、失敬、何卒(どうか)以来お心安く」と馴々しくはいり込むだが、六日目には「君、お気の毒ですが、壱(いち)円立替へて呉れませんか、今日あたり為替(かはせ)が来る筈だが」とやつて来た。嚢底(なうてい)無一文(もん)の由答ふると、一寸困つた様子で「君の羽織か、不用の着物でも宜(いゝ)から一寸(ちよいと)ほんの一寸貸して呉れませんか」と云ふので、「お寒いのですか」とは[2]僕が一生の大出来、流石(さすが)に質(しち)に置く為とは云ひ兼ねて、苦笑して帰つて行つた。併し僕は此の木村某には感謝す可き理由を有するのである。平民新聞発行停止（激烈な非政府新聞だけ停止は毎度の事であつた）の際、僕の為めに十行二十字詰一枚五厘の筆耕を（シ）周旋(しゆうせん)して呉れたのは、君であつた。尤も後で聞(きけ)ば、原依頼者は一枚一銭五厘の割で金を渡したそうで、差引一銭は僕の手に届くまでの途中で煙と消へたのである。併し僕は尤もとこそ思へ、万々不平は云はぬ。今の世に誰か世話料(コムミツシヨン)を取らずに世話をやく人があらふぞ。（因(ちなみ)に云ふ、或時僕は某学校教師の講義録とか云ふものの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

浄写を頼まれたが、初二十枚ばかりで忽ち謝絶された。誤写が夥(おびただ)しいとの口実であつたが、実はあまり文章がまづいので、よせば宜(よい)のに僕がちよい〳〵添削したのが、3先生の逆鱗(げきりん)に触れたのであつた）。

配達を終へて新聞社から帰ると、冷汁冷飯で晩(おそ)い朝飯を食つて、一寸睡(まどろ)むと、僕は梅干入の握飯を拵(こさ)へて貰つて、上野の書籍館に通つた。一は書籍代を倹約し、一は下宿附近の騒々しきを避けて、心静かに大学入学の準備を整ふる為である。馴れない昼夜顛倒の仕事に、睡眠時間が如何(どう)しても不足するので、兎もすれば頭がふら〳〵して、理科の書やユークリッド、トドハンタアの上に（ス）意気地なく点頭し、一度は吾れ知らず鼾(いびき)を立ててはつと心づけば、満室の青年老年或は哄笑し或は不礼な男と云ひ貌(がほ)に憤激して居るので、僕は思はず火の様に赤面したことがある。其後は4少し怪しくなると、窃(そつ)と出て、庭の腰掛(ベンチ)にもたれ、早咲の梅が香鳥の音の清きに魂を浮べ軽風暖日に背を曝(さ)らして三十分か一時間快よく睡(ねむ)つて、さめるとまた入つて書巻に対した。閉館の時刻になると、僕は種々の事を考へながら上野の森を穿(うが)つて、夕照(ゆふやけ)流る不忍池(しのばずいけ)の方へ下りるのが常であつた。僕は今も非常に、上野の森を愛する。人に限らず、樹木でも大きいものは側(はた)へ寄つても、誠に心地の快(よ)いもので。

燈火(あかり)がつく頃、下宿に帰つて夕飯を食ふと、非常に睡ければ燈火(あかり)を消して三時間ばかり寝るし、さも無いと早めに下宿を出て

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（此も一は燈油(あぶら)代の節倹である。僕はしば〳〵思つた、此様(こん)な風なれば西内さんの養子にもなれそうだ）平民新聞社の土間の大火鉢の側の長木榻(ベンチ)に腰かけて、他の同僚が草鞋(わらぢ)ばきのまゝ荒莚(あらむしろ)の上に鼾をかいたり、今は昔の栄華の夢を繰り返へしたり、或は鄙猥(ひわい)な冗談を云つたりして居る横で、薄闇いランプの光に、事務室から数種の新聞を借りて読むだ。配達の分際だから、勿論編輯局の模様は知らぬが、二階の笑声など聞ゐて已(すで)に落涙しかけて唇を噛むだことは幾回(いくたび)か知れぬ。

（徳富蘆花『思出の記』）

〈注〉扁鵲(へんじゃく)…中国、戦国時代の伝説的名医
トドハンタア…Issac Todhunter。一八二〇〜一八八四年。イギリスの数学者。

問1　傍線部1「穿つた評判」とはどういうことか。次のa〜dの中からもっとも適切なものを一つ選べ。

a　手固い宿屋にしては、下婢(をんな)が十三回も替わったという評判
b　たきとかかきとかいう主婦が給料を払わずに下婢(をんな)を使う方法を見つけたという評判
c　はきはきした主婦は下婢(をんな)を更迭するくせがあるという評判
d　手固い下宿屋といわれている反面、休みの朝などドタバタと相撲などをし、落ちつかないという評判

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問２　傍線部２「僕が一生の大出来」は、なぜ「大出来」なのか、次のａ～ｄの中からその理由としてもっとも適切なものを一つ選べ。

ａ　「お金などお貸しなさいますな」という宿の主人の言葉に引かれて、借金を断わることが出来たから
ｂ　「壱円立替へて呉れませんか」という無心に、無一文であると答えたから
ｃ　羽織か着物を「ほんの一寸貸して呉れませんか」という願いに、皮肉ぽく婉曲に断ることが出来たから
ｄ　「何卒以来お心安く」となれなれしく入ってくる人間に対して警戒心をもって対応できたから

問３　傍線部３「先生の逆鱗に触れた」と筆者が述べるのはなぜか。次のａ～ｄの中からその理由としてもっとも適切なものを一つ選べ。

ａ　きれいに文章を整える約束だったのに、あまりに誤字が多かったから
ｂ　清書した講義録の内容を全く書きかえてしまったから
ｃ　清書をすればよいだけだったのに、文章のまずい部分を直してしまったから
ｄ　添削までした割には、きれいに講義録を写しとることができていなかったから

問４　傍線部４「少し怪しくなると」とはどういうことか。次のａ～ｄの中からもっとも適切なものを一つ選べ。

ａ　このまま書籍を読みつづけていると眠り込んでしまいそうな気になると
ｂ　書物の内容を本当に理解しているのか、自分で確信が持てなくなると
ｃ　勉強は続けたいのだが、書籍館の中の雰囲気が険悪になってくると
ｄ　読書よりも散歩がしたいような気分になると

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問５　以下のａ〜ｅのうち、本文の内容と合うものをＡ、合わないものをＢとせよ。

ａ　筆者が東京で初めて住んだのは湯島にある室料の安い下宿であった。

ｂ　下宿を共にする連中は、下宿の亭主が言うところの「お堅い方ばかり」であったが、その内の豪傑四人組が日曜や祭日の朝に二階で相撲や柔術のどたばたをするのにはいささか閉口した。

ｃ　木村某は、長崎の高等中学で落第をつづけ、東京にやってきた。

ｄ　燈油代を節約したかったので、燈火を消して三時間ほど寝たり、平民新聞社の土間の薄暗いランプを利用して新聞を読んだりした。

ｅ　勉強をつづけるためには、なれない新聞配達の仕事を昼夜の別なく続けなければいけなくなったので、たまの休みに書籍館で大学入試の準備をする際には、居眠りをすることもしばしばだった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　徳富蘆花＝とくとみ　ろか（一八六八〜一九二七）熊本県生まれ、同志社英学校（今の同志社大学）中退。小説家。ロシアの文豪トルストイにも会見したことがある。代表作『不如帰（ほととぎす）』。晩年は東京の世田谷区に住み、住居跡が現在「芦花（ろか）公園」として整備されている。京王線の駅名「芦花公園」もこれに由来する

語句

湯島＝ゆしま→東京都文京区の地名。湯島天満宮が有名

芝口＝しばぐち→現在の東京都港区の地名

廉い＝やすい→値段が安い・廉価（れんか）

所謂＝いわゆる→世にいう・一般に言うところの

　cf所以＝ゆえん→理由・根拠

瘧＝おこり→発熱、悪寒、震えの症状を伴う熱病。マラリアなど

縁＝えん→縁側・庭に面した廊下

猫の額＝ねこのひたい→狭いことのたとえ

　cf猫も杓子も→誰も彼も・どいつもこいつも

猫に小判（こばん）→価値のわからない人に貴重なものを与えても無駄であること

猫に鰹節（かつおぶし）→好物を近くに置くこと。油断ができないこと

猫にまたたび→大好物を与えること。与えると相手に対する効果がでるもの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

猫を被る↓本性を隠しておとなしくすること

鬱陶しい＝うっとうしい↓気ざわり・煩わしい

cf 五月蠅い＝うるさい

狼藉＝ろうぜき↓オオカミの巣、寝床は乱雑とされるところから、ちらかっていること

下婢＝おんな↓炊事や雑用などの下ばたらきのために雇われた女。召使の女・はしため・下女

更迭＝こうてつ↓ある地位にある人を入れ替えること

穿った＝うがった↓深読みすること

許嫁＝いいなずけ↓フィアンセ・婚約者

為替＝かわせ↓現金化できる一種の証書。小切手など。現金自体を輸送する代わりに使われたもの

愛嬌＝あいきょう↓にこやかでかわいらしい・人に好かれる感じ・「愛敬」とも書く

嚢底＝のうてい↓財布の底

無一文＝むいちもん↓一文無し。金銭をまったくもっていないこと

由＝よし↓わけ、理由。内容

一寸＝ちょっと↓少し

大出来＝おおでき↓立派な出来栄え。予想以上のよい結果。上出来

筆耕＝ひっこう↓清書して報酬を得る仕事

周旋＝しゅうせん↓仲立ち、仲介すること。斡旋

忽ち＝たちまち↓きわめて短時間で。またたくまに

夥しい＝おびただしい↓たくさん・非常に数が多いこと

倹約＝けんやく↓出費をおさえること。節約

哄笑＝こうしょう↓大口をあけてどっと笑うこと。爆笑

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

点頭＝てんとう→首を縦にふる、うなずくが本来の意味だが、本文では眠りに落ちそうな様子を指す

鄙猥・卑猥＝ひわい→下品でみだらなこと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第二講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）ゴミがロウ藉と横たわる　①郎　②老　③労　④狼　⑤楼
（イ）衣装の費用をケン約する　①権　②倹　③剣　④険　⑤健
（ウ）意外な評バンを耳にする　①盤　②判　③番　④伴　⑤版
（エ）不届きな態度にフン激する　①奮　②墳　③憤　④噴　⑤吻
（オ）遠方からのイ頼に応える　①移　②衣　③委　④易　⑤依
（カ）家主から邪マ者扱いされる　①間　②魔　③摩　④磨　⑤馬
（キ）写真をカイ中にしのばせる　①懐　②解　③回　④怪　⑤介
（ク）豪ケツ四人組の仕業だ　①結　②潔　③傑　④訣　⑤決
（ケ）医師の試験に落ダイする　①台　②題　③弟　④醍　⑤第
（コ）新しい仕事をシュウ旋する　①収　②周　③集　④就　⑤酬

本文中の波線部（サ）～（ス）の意味をそれぞれa～dの中から一つ選べ。

（サ）
a　いつでも申し訳なさそうに散らかされていて
b　年中これ見よがしに散らかしてあって
c　年中甲斐もなくそのままにしてあって
d　いつも散らかし放題に散らかっていて

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（シ）
a　間に入ってうまく取りもってくれた
b　仕事先として一方的に決めてくれた
c　複数の人たちの間で回覧してくれた
d　先回りをして片付けておいてくれた

（ス）
a　うっかりとして頭をぶつけ
b　がまんできずに頭を下げて
c　元気もなく頭を悩まし
d　あきらめて降参し

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　付録（近代文語文）

基督(キリスト)教は、現世の貧苦および不幸を、直ちに救済することに着手した。しかもその救済の栄誉を神に帰せんとしたのである。社会主義が貧苦に対して採る所の解決法も、またこれに等しいのである。自由競争主義を賛する者は、貧富の懸隔をもって優勝劣敗の結果なりとし、これを自然の法則なりと諦(あきら)めおることは、あたかもマホメット信者が運命説を確守せるが如きものである。彼らが劣者の敗れたるをもって彼らの努力の不足に因(よ)るものとなすは、猶(な)お仏教が人の不幸をもって前世の応報なりと説くがごときではないか。社会主義は、これらの不道理なる説に反抗せんが為に起った。貧者の多数は、決して自己の過失の為に貧困に陥ったのではない。その責任は彼等に在るのではなくて、社会組織そのものに在りと喝破(かっぱ)したのが社会主義である。されば吾人(ごじん)は、この点において社会主義と基督教の類似を見るのである。

基督教も社会主義も、弱者の為に同情を表するという点において一致している。勿論、世界を包容するほどの大主義は、決して一階級や一局部の人のみにその福音(ふくいん)を伝うべきものではない。故に基督の弟子ポーロの如きは、ユダヤ人に対してもギリシャ人に対しても、また貧しき人にも富める人にも負える所ありというておる。社会主義をもって単に貧者の利益を謀(はか)るものと考えるのは、誤謬である。吾人の見る所をもってすれば、社会主義の為に利益を得る者は、ただに貧者のみではない。富者もまた生活の安固を得て、真に人生の愉快を味わうことができるのである。されば、基督教も社会主義も、一視同仁の心をもって起ったのであることは疑ない。

然(しか)れども、もしその同情の最も多く注ぐ所は何れの階級なりやといわば、それはいうまでもなく世の弱者である。基督は、その活動の初めに当りて、明白に自己の主義を宣言している。彼がバプテズマのヨハネに就(つ)き、多く修養する所ありて、その郷里に帰り来たるや、彼の親戚および知人は、一日、会堂に集まりて、彼の新説を聴かんことを求めた。彼は徐々に演壇に進んで処女演説を試みんとしたが、彼がイザヤ書より引照したる句は、実に左の如くであった。『主の霊、我に在(いま)す故に、貧者に福音を宣伝せんことを、我に膏(あぶら)を沃(そそ)ぎて任じ、心の傷める者を医(いや)し、また囚人に釈(うるお)さん事と瞽者(めしい)に見させん事を示し、また圧制せらるる者を縦(はな)ち、主の禧年(めぐみのとし)を宣(の)べ播(ひろ)めんが為に我を遣(つか)わせり』。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

これ実に基督の宣言書であって、彼が貧者、囚人、瞽者および抑圧を受けたる者に対する同情の如何(いか)に深きかを想見することができるではないか。吾人は社会主義の歴史を見て、その同情が主として貧者弱者の上に在るを想い、この点においてもこの二者がその趣を同じゅうせるを知るのである。

さらに進んで、この二主義が如何に弱者に対して大なる慰藉(いしゃ)を与うるかを見よ。基督教は決して弱者を弱者視せず、罪人を罪人視せぬのである。如何に汚濁(おだく)の生涯を送りたる人にても、一朝(いっちょう)悔悟すれば、彼は神の子と呼ばるることができる。神は我らの罪を忘れたまうとは、是(こ)れ旧約書の吾人に告ぐる所ではないか。社会は吾人の旧悪を記憶しているかも知れぬ。侮蔑と嘲罵(ちょうば)とは彼らの口より出ずるかも知れぬ。しかも天地神明(てんちしんめい)の前において、吾人は無罪の宣告を受けたのである。世の弱者に対してこれにまさりたる福音が他にあるであろうか。

而(しこう)して基督教主義が精神的方面において絶対的寛容主義を標榜(ひょうぼう)するが如く、社会主義は物質的方面において同一の主義を主張するのである。現社会における競争に打ち負けたる弱者劣者も、社会主義の行わるる社会においては一人前の人間として取り扱わるるではないか。自由競争主義は飽(あ)くまでも各人の材能に応じてその報酬を異にすべきを主張すること、恰(あた)かも倫理学者が各人の行為に依り優劣を定めんとするが如くであるけれども、社会主義は基督教の寛容主義と同じく、何人をも同等の地位に置きて同一の取り扱いを為さんとするのである。一旦(いったん)悔悟して神前に立たば、各人皆等しく神の子となるではないか。比較的罪悪の少きものが罪悪の多きものに勝りて特種の取り扱いを受けんとするが如きは、僭越(せんえつ)の甚(はなは)しきものである。社会主義の実行は、人類全体に取りて大なる福祉である、光明である。この福祉の裡(うち)にありながら、尚お僅少なる才能の差を言い立てて特種の取り扱いを請求せんとするが如きは、愚もまた甚しいではないか。大赦令(たいしゃれい)発布の下には罪の軽重を問わずして、囚人皆その恩恵に与(あずか)るのである。基督教も社会主義もある意味における大赦令であって、平等主義の立場より人類を救済せんとするのである。世の弱者がこれに依りて大なる慰藉を得るのは当然のことである。

基督教は大胆に平等主義を宣伝する点において、全く社会主義と経路を一にしている。宗教家の眼中には貧富の区別もなく知遇の差違もない。同胞兄弟という観念は、階級思想を全く打破するのである。我は神の子ではないか。王侯貴人と雖(いえど)もまた我が同胞なりとは、宗教家が普通の事として考える所である。神は天地を包容する者ではないか。幾億万里を隔てたる天の一涯においても、神は尚お存在したまうではないか。我らの生存する地球は是れ大海の一滴にして、その一塊(いっかい)の地上に生育せる吾人人

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

類が人為的階級を立てて、あるいは誇り、あるいは羨(うらや)むが如き、あまりに気の小さき話ではないか。ひるがえりて吾人は何れも神の子たることを思わば、小異を立てて相争うが如きは、全く児戯(じぎ)に属するものといわねばならぬ。社会主義の起りたるも、全くこの平等主義を実行せんが為である。基督教が精神的方面より平等主義を唱うるに対し、社会主義は先ず経済上の平等を実行し、漸次(ぜんじ)これを政治、社会、道徳の方面に及ぼさんとするのである。

以上述べたる所に依れば、社会主義と基督教は、その主張において相似たる所あるのみならず、彼らが提携するにあらざれば、おの〱その目的を達することも困難であろうと思う。吾人は社会主義の唱道するが如き社会にあらずんば、到底基督教の道徳が実行され得(う)べしとは信ずることができぬ。如何に博愛が吾人の養うべき美徳なりとはいえ、現社会において遺憾(いかん)なくこれを実行することはできぬではないか。蓋(けだ)し現社会においては、自他の利益相反すること少なからず、従って吾人は道徳を行うに多くの困難を感ずるのである。もし社会にして平等主義と協同主義の上に立たば、吾人の一言一行は、おのずから博愛の途に合うことになるであろう。基督教が社会主義の助けを借らざるべからざるは、無論の事ではないか。

然れども、社会組織の改革は、個人的基礎を無視して実行することはできない。社会主義の唱道する社会組織の現出する時には、もはや個人の道徳品性も今日の如きにあらざることを予想せねばならぬ。故に社会主義を宣伝するものは、同時に精神的方面にも努力する所がなくてはならぬ。吾人は必ずしも基督教というを要せず、然れども基督教の有するが如き精神を有することは必要である。別言すれば、吾人は飽くまでも自ら清潔なる品性を修養して改革の事に当らねばならぬのである。

世人(せじん)、往々吾人の主張を指して基督教社会主義と称するものがある。吾人は敢てこの名称を避けんとするものではないけれども、これが為め幾分誤解の生ずることなしとも保(ほ)し難い。吾人は基督教の精神に依りて社会主義を宣伝せんとするものなれども、これが為め社会主義の主張を変化するが如きことはない。吾人は彼の英国などにおける基督教社会主義の如く、単に社会改良主義を主張して満足するものではない。吾人はここに明言す。吾人の社会主義は社会民主主義にして、最も根本的に社会を改造せんことを主張するのである。ただ吾人は、この任の如何に重且つ大なるかを思うが故に、まず自己を修養するの必要を感ずるとともに、我が社会主義をして大いに精神的方面に発展せしめんことを希(ねが)うのである。

（安部磯雄の文章に拠る）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　安部磯雄＝あべ　いそお（一八六五～一九四九）福岡県生まれ、同志社英学校（今の同志社大学）卒。早大講師・教授を務め、早大野球部の創設者。西早稲田にあった野球部の公式練習場は「安部球場」と呼ばれた。その後、その敷地は早大中央図書館などになったが、二〇一五年東伏見キャンパスにて「安部球場」は復活となった

語句

懸隔＝けんかく→へだたり、距離があくこと
喝破＝かっぱ→大声で相手を打ち負かすこと。真実を解き明かすこと
吾人＝ごじん→わたし、あるいは我々のこと
福音＝ふくいん→キリストの教え、キリストによって人類が救済されるという喜ばしい知らせ。宗教と関係なく、うれしい知らせという意味で使われることもある
引照＝いんしょう→他のものと引き比べること
慰藉＝いしゃ→なぐさめ、いたわること
一朝＝いっちょう→わずかなあいだ、一度。「一朝一夕（いっちょういっせき）」もわずかな時間の意味
嘲罵＝ちょうば→相手をあざけりばかにすること
天地神明＝てんちしんめい→この世の多くの神々
標榜＝ひょうぼう→主義主張を公然とかかげること
僭越＝せんえつ→立場や地位もわきまえず出過ぎた言動をすること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

僅少＝きんしょう→ほんのわずかなこと
大赦＝たいしゃ→無罪放免にすること
知遇＝ちぐう→認められて手厚くもてなされること
蓋し＝けだし→「私が思うに」の意味
往々＝おうおう→しばしば、よくあることだが
遺憾＝いかん→思い通りにいかずに心残り、残念の意味。「遺憾なく」で充分に、存分に、思い残すことなくの意味
唱道＝しょうどう→先頭に立って意見を唱える
修養＝しゅうよう→学問をおさめ、道徳的にも高めようとすること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　言語論

つぎの文章を読んで、後の問いに答えよ。

そもそもロゴスというギリシア語は、言葉、議論、計算、比例、尺度、理法、理性、根拠などという複雑多様な意味をもっていた。そこでハイデガーは、ロゴスが何であるかを推定するためにこの語の動詞にあたる〈レゲイン〉に注目する。レゲインとは、「述べる、言う、物語る」であるとともに「読む」ことでもあるが、そこに共通する基本的な意味は、「とり集めて目の前に置く」ことであるという。

もちろん、「とり集める」といっても、ただ乱雑な集積をつくるのではなく、一定の尺度に従って多種多様な異物を一つのカテゴリーに括ることであるのだから、それは［イ］をも含む概念と言えるだろう。現在でも使われるカタログ（←カタロゴス＝整理のための目録）という語がもつ、分類と整頓の概念を考えてみればわかりやすい。ここに、万物を支配する〈法則〉、ものごとの〈根拠〉、世界の〈理法〉、ひいてはのちのキリスト教的な唯一、絶対神の概念が導き出されるもとがあった。「太初に言（ロゴス）ありき。言は神と偕にあり、言は神なりき。」というヨハネ伝福音書の冒頭の文言が、ヘレニズムの正統的遺産であることは想像にかたくない。

ハイデガーの考えでは、森羅万象をカテゴリー化して意味あるものと見ることのできるのは人間だけであり、これはアニマル・シンボリクム（象徴を操る動物）としての人間が有する言葉の力によるものにほかならない。つまり、人間のもつ言葉こそ、「とり集めて目の前に置く」ロゴス（←レゲイン）であったのだ。

そうしてみると、ロゴスとしての言葉は、すでに分節され秩序化されている事物にラベルを貼りつけるだけのものではなく、その正反対に、名づけることによって異なるものを一つのカテゴリーにとりあつめ、世界を有意味化する根源的な存在喚起力としてとらえられていたことになる。くだいて言えば、私の「頭」と魚の「頭」、私の「脚」とテーブルの「脚」は、それぞれ「頭」と「脚」という言葉によって同じカテゴリーに括られていくのである。

古代から名称にまつわる神話や伝説は少なくない。たとえばエジプト神話には、太陽神ラーがそれまでひたすら隠していた本

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

名を女神イシスに知られてしまったために、イシスがその力を奪って全能となる話がある。イギリスの民俗学者・J・G・フレーザーによれば、現代でも、オーストラリア南部に住むユイン族にあっては、父親は入団儀式の際に息子にだけ自分の名を打ち明けるが、他の人びとには隠し続けるという。

また、その名を口にすると危険な動物が出て来て害をなすことを恐れるあまり、熊のことを「蜂蜜を食べるもの」（スラブ語）とか「褐色のもの」（古代高地ドイツ語）という仮（かり）の名で呼んだ慣習も珍しくない。これはすべて、「名が対象と同じ力をもつ、もしくは対象を出現させる」という［ロ］であり、アッカド語では「存在する」と「命名する」とはシノニムなのである。

これを単に神話的、非論理的思考と笑ってはなるまい。世界のロゴス化とは、それまで分節されていなかったマグマの如き生体験の連続体に区切りを入れて、これを観念なり事物なりのカテゴリーとして存在せしめることなのである。具体的に言えば、日本語を母国語とする人びとに、「犬」と「狸」が別の「動物」であるような意識を生ぜしめたり（フランス語ではいずれも chien と呼ぶ）、「蝶々」と「蛾」を別の「昆虫」であるように思いこませたり（これまたフランス語では同一の名称 papillon でしかない）すること、さらにメタ的レベルにたつ「動物」とか「昆虫」というクラス名で、それぞれ「犬」と「狸」、「蝶々」と「蛾」を同一カテゴリーにまとめることを可能にするものは、言葉の力以外のなにものでもない。同じ名づけと言っても、カテゴリー自体を生み出す命名作用（世界の分節）のような一次的機能と、生まれた犬に「ポチ」と名づける二次的命名作用（ラベルの貼付）としての機能の二つがあるのである。第一の命名作用について、フランスの現象学者・メルロ＝ポンティは、「事物の命名は認識のあとになってもたらされるのではなくて、それは認識そのものである」と言っている。

幼児にとって対象物というものは、それが名前をもった時にはじめて知られ、存在する。そうしてみると、ロゴスとしての〈名＝言葉〉があってはじめて世界は分節され、実質的なもろもろの差異が構造的同一性で括られることによって存在を開始するのであるから、ロゴスが生み出したカテゴリーこそが、一見自存的実体と思われていた〈志向対象〉だと言わねばならない。〈語る〉ことは真の意味で〈名づける〉ことであり、［ハ］であり、差異化である。そして世界が差異化されると同時に、私たちの身と意識の方も差異化されるという相互作用を見逃してはなるまい。

（丸山圭三郎『言葉と無意識』による）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問1　空欄［イ］に入る最も適切な語句を、つぎのなかから選び、記号で答えよ。

a　整理と集積　b　組織化と連合　c　秩序化と統一　d　分析と法則　e　総合と配分

問2　空欄［ロ］に入る最も適切な語句を、つぎのなかから選び、記号で答えよ。

a　心霊現象　b　神秘思想　c　言霊思想　d　精神現象　e　多神教思想

問3　空欄［ハ］に入る最も適切な語句を、つぎのなかから選び、記号で答えよ。

a　言葉による外界の解釈　b　言語による自己の分析　c　人間にのみ可能な能力の開発

d　対象に人間的な意味を与えること　e　自己と外界との精神的な接触

問4　傍線部の「世界を有意味化する根源的な存在喚起力」とはどういうことか。本文中から同じ趣旨の表現を一つ選び、解答欄の範囲内で書け（二十五字前後）。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　丸山圭三郎＝まるやま　けいざぶろう（一九三三〜一九九三）東京生まれ、東京大学文学部仏文科卒、同大学院修了。言語学者。近代言語学の父とも呼ばれるソシュールの研究者としても有名

●マルチン・ハイデガー（一八八九〜一九七六）ドイツの哲学者。フライブルク大学で学ぶ。主著『存在と時間』

●ジェームズ・ジョージ・フレーザー（一八五四〜一九四一）イギリスの民俗学者。グラスゴー大学、ケンブリッジ大学で学んだ

●モーリス・メルロ・ポンティ（一九〇八〜一九六一）フランスの哲学者。高等師範学校（エコール・ノルマル・シュペリウール）で学ぶ。「現象学」と呼ばれる認知科学や心理学とも関連する哲学を発展させた

語句

理法＝りほう→法則・道理にかなった法則

カテゴリー→カタログ・目録

概念＝がいねん→ことば・抽象的なことば・ことばの意味内容

整頓＝せいとん→乱れたものを片付けて整えること

ヘレニズム→ヘブライズム（ユダヤ教・キリスト教を生んだ精神文化）と対比されるギリシャの精神文化のこと。ヨーロッパの精神文化の二大源流とされることがあります

正統＝せいとう→伝統や血統を正しく受け継ぐこと。対義語は異端

cf正当→道理や理屈に適合していること。対義語は不当

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

森羅万象＝しんらばんしょう↓この世のありとあらゆるもの・宇宙のすべて
　cf有象無象＝うぞうむぞう↓第一に森羅万象と同じ意味。第二にこの世にありふれて存在する、つまらぬ人々という意味
分節＝ぶんせつ↓細かく分類して説明すること
　cf文節↓「主語になる文節」「述語の文節」など文法の単位・発音上の区切り
喚起＝かんき↓呼び起こすこと
　cf換気↓空気を入れ替えること
言霊思想＝ことだましそう↓言葉に霊力が宿るという考え
　cf言忌み＝こといみ↓不吉なことの実現を恐れて、ある種の言葉の使用をひかえること
　cf忌み言葉　例「するめ」を「あたりめ」、「杓子＝しゃくし」を「しゃもじ」、植物の「葦＝あし」を「よし」と言い換える例がある　人間は考える葦（あし）である／葦（よし）の髄から天井を見る
心霊現象＝しんれいげんしょう↓ポルターガイストなどのオカルト
シノニム↓同義語という意味
メタ↓一つ次元が高いという意味で使われる
　cfフィジックスとメタフィジックス↓物理学と形を超えた真理の学問（形而上学（けいじじょうがく））
　cfメタ認知↓自分の認識や思考がどんなものか、どんな状況で生まれたものか自分でとらえなおすこと
自存的実体＝じそんてきじったい↓他の何かに依存することなく、それ自体として存在するもの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）判断の根キョを明らかにする　①居　②虚　③挙　④据　⑤拠

（イ）ロゴスはフク雑な意味をもつ　①福　②復　③複　④覆　⑤腹

（ウ）語源から意味を推テイする　①諦　②艇　③呈　④定　⑤程

（エ）本が乱雑に集セキしている　①績　②籍　③積　④析　⑤責

（オ）整理のために目ロクをつくる　①禄　②録　③碌　④緑　⑤鹿

（カ）論文のボウ頭に書かれている　①某　②帽　③望　④冒　⑤暴

（キ）混沌とした世界を分セツ化する　①節　②説　③切　④接　⑤設

（ク）世界の文化イ産を見学する　①威　②遺　③偉　④位　⑤伊

（ケ）熊はカッ色の毛並みをもつ　①活　②喝　③渇　④褐　⑤葛

（コ）新生児のメイ名を行う　①名　②命　③明　④姪　⑤銘

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　日本文化論・弁証法

次の文章を読んで、後の問題に答えよ。

日本人はむかしから世界に対して美的態度をとる傾向がつよかった。ただしこの美的というのは、かならずしも芸術的ということではなく、ましてつねに価値の高い芸術作品をつくったということではなく、むしろ情緒的な感動や快感をもって最高の境地とし、これを最後の解決とするというほどの意味である。このような美的態度―情ということは、日本文化にいちじるしい。

他のすべての民族は、その文化のはじめに世界への恐怖をもっていてそれへの防禦（ぼうぎょ）を表現したが、日本ではこれはずっと初期の縄文式土器にいくぶんかあとをみせただけで、まもなく消えてしまった。世界と人間との対立はなくなり、いまわれわれが遺品によってみるのは、自然児の素朴で無邪気な渾融諧和（こんゆうかいわ）、遊戯衝動である。弥生式土器、埴輪、[A]の神話である。日本人は、世界のおそろしさに対する原体験をぬきにして出発したらしい。世界人生と対決して、そこに二元性のきびしい矛盾に苦しんだあとはすくない。事実の重圧に直面して、意力、知力をもってそれと格闘しようとはしなかった。むしろすべてを、[B]に流した。素朴で明るいと考えられている[C]には意外に死の歌が多く、言葉はすでに巧緻をきわめているが、これも悲劇ではなく、詠嘆である。むかしから日本人は嘆くことが大好きであり、情的感動への要求がつよくて、相手の正体を見きわめようとする[D]への要求はすくない。もちろんすべてがこれのみではなかった。さかんな知的探究も行われ、鎌倉戦国の武将はつよい意力の持主であり、徳川時代の武士道文化はほとんど古ローマ的スパルタ的な克己（こっき）禁欲を重んじ、感性をいやしめひたすら[E]を表にたてて、鍛練（たんれん）をした。明治時代はこの遺産によって形成された。しかし、全体としてみると、そこにはつねに情のヴェールがかかっている。

親鸞（しんらん）は「南都北嶺（なんとほくりょう）にはゆゆしき学僧たちがいる。理論をききたければそちらに行ってくれ。自分はただ信心に生きる」とて、ふかい信仰の道をひらいた。葉隠れ武士は「忠とか不忠とか、義とか不義とか、考えるのがいやである。ただ一途（いちず）に主君のために死ぬ」とて、忠誠、名誉、廉恥（れんち）に精進（しょうじん）した。キリスト教国では自殺ということは汚辱（おじょく）の敗北ということになっているが、日本では心中は純情のあらわれとして美化され讃美された。うつくしく滅びゆく者は、つねに同情をあつめた。こちたき言挙（ことあ）げを

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

きらい、きびしい認識をむしろおとしめて、ひたすら情に殉じた。

この性格は現代でも変らない。世界人生は緻密に［F］に認識せらるべきであるというセンスが乏しく、自分の判断にはまだ検討の余地があるのではないかと疑うことがすくないから、ともすると感情的独断でわりきる。感情の要求に答えないものは、事実のいかんにかかわらず論理のいかんにかかわらず、否である。都合のわるいことは事実でもうけつけない。むしろ狭い感情的独断にしたがって、事実と論理をつくりあげる。これは人間に［G］な傾向ではあるものの、事実の認識と論理づけがいかに［H］な要求によって左右されるものであるかは、おどろくほかはない。一方の極に［I］ヒューマニズムがあり、他方の極に［J］アナーキズムがあり、そのあいだのもやもやしたコンプレックスがある。こうしたものが一切を速断する。しかし、それはもともと認識に出発したものではないから、時が変れば頭を切りかえて、認識としては浅いところで、そのときそのときに懸命になる。

ドイツではすべて［K］だが、日本にはディアレクチクはない。自分がひとり異をたてるということは、その理由や内容のいかんにかかわらず、そのこと自体が全体の調和をみだすものとして、なすべからざることであり、美的趣味をそこねることなのである。つねに型にはまった画一的な考え方が風靡(ふうび)するのは、一つにはこういう心的傾向からきているのであろう。

言論による多数決のはずのデモクラシーが、ともすると自分の集団の中では自然の一致なれあい、外にむかっては勝つか負けるかの悲壮な決意完遂(かんすい)になるのも、やはりそれであろう。

そのほか、こういう例はかぎりがない。

（竹山道雄(たけやまみちお)「文化の形態と接触」による）

問１　空欄［A］・［C］にはそれぞれ、上代の作品の書名が入る。その書名を漢字で記せ。

問２　空欄［B］・［D］・［E］を埋めるのにもっとも適切な言葉を、次のそれぞれの中から選んで記せ。

B　①　美　②　喪　③　情　④　水　⑤　歌

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　①　対立　②　事実　③　対決　④　認識　⑤　格闘

E　①　武勇　②　意志　③　質朴　④　忠義　⑤　道徳

問3　空欄 F ～ K のそれぞれを埋めるのにもっとも適切な言葉を、次の中から選んで記せ。

①　弁証法的　②　感傷的　③　普遍的　④　主観的　⑤　破壊的　⑥　多角的　⑦　積極的

問4　次の文章のうち、本文の筆者の主張に合致するものには○を、合致しないものには×を記せ。（誤答は正答の得点から減点する。）

①　日本文化に見られる美意識は、縄文文化と弥生文化にそれぞれ由来する伝統の渾融諧和によって育まれたものだ。

②　他の文化ではあたりまえの事実の認識に基づく論理づけが、わが国ではこちたき言挙げとされいやしめられる傾向が著しい。

③　日本人の美的感覚には論理が欠けているために、わが国には世界に通用する価値を持つ芸術作品がなかなか生まれない。

④　徳川時代に賞揚された武士道のモラルは、日本的美意識の伝統から逸脱したものだ。

⑤　日本文化の本質をなすと言える美の感覚は、弥生時代から現代まで根本的にはあまり変化していない。

⑥　わが国でデモクラシーが正常に機能せぬことも、日本文化に固有の美意識とけっして無関係ではない。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　竹山道雄＝たけやま　みちお（一九〇三〜一九八四）東京大学文学部独文学科卒。文学者。小説『ビルマの竪琴』の作者でもある

●親鸞＝しんらん　鎌倉時代の僧侶で浄土真宗の開祖

○『古事記』↓神話的歴史書。『日本書紀』も内容の重複があるが、こちらは大和朝廷の「正史」

○『万葉集』↓まず、技巧が未発達で素朴・実直な歌が多いこと、加えて貴族のみならず、東人の歌や防人の歌を含むため、「ますらおぶり（男っぽい）」と評される。他方、平安時代の『古今和歌集』は貴族と僧侶の歌が主であることから「たおやめぶり（女性っぽい）」と評される

語句

防禦＝ぼうぎょ↓「防御」と同じ。攻撃から身を守ること

巧緻＝こうち↓細かいところまでいきとどいて精巧であること

克己＝こっき↓自分の欲望に打ち勝つこと。「克己心」という表現もあり

鍛錬・鍛練＝たんれん↓心身をきたえて、技を磨くこと・金属を打ってきたえること

廉恥＝れんち↓心が清く、恥を知る心をもつこと。これがなくなると「破廉恥」

精進＝しょうじん↓努力すること。修行に打ち込むこと

汚辱＝おじょく↓恥ずべきこと。恥辱

言挙げ＝ことあげ↓言葉に出してあれこれ言い立てること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

こちたし↓古語の形容詞で、うるさい、わずらわしい、しつこいの意味
ヒューマニズム↓様々な縛りから人間を解放しようとする思想。または人間愛を大事にする人道主義
アナーキズム↓無政府主義。本来は、最大の暴力機構である政府をなくすことによって、平安暮らしを実現しようとする思想だが、一般には、無秩序と混乱、破れかぶれな態度を意味する。今回の文章でも後者の意味
コンプレックス↓一般には劣等感を意味するが、複合的な感情で、本来は優越感も含む
ディアレクチク・ディアレクティーク↓弁証法。対話や議論を通じて意見を高める思考方法
モラル↓道徳や倫理
風靡＝ふうび↓風が草木をなびかせるように、大勢の人を従わせること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）大衆の情チョに訴える　①著　②貯　③緒　④猪　⑤躇

（イ）会議にて検トウを重ねる　①討　②踏　③問　④闘　⑤刀

（ウ）カク一的な発想を超える　①各　②角　③核　④画　⑤確

（エ）議論のヨ地が残っている　①予　②預　③代　④誉　⑤余

（オ）決意を最後まで完スイする　①粋　②酔　③睡　④推　⑤遂

（カ）技術はコウ緻を極めている　①硬　②効　③侯　④巧　⑤考

（キ）主君に心から忠セイを誓う　①誠　②姓　③聖　④誓　⑤精

（ク）仕事や勉学にショウ進する　①性　②章　③精　④焦　⑤省

（ケ）武士の名誉や廉チを重んじる　①智　②知　③恥　④治　⑤痴

（コ）仕事をシュ味として生きる　①守　②主　③趣　④手　⑤珠

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　認識論・現代社会論

左の文章を読んで後の設問に答えよ。

空間的に自分が「どこにいるか」ということは比較的簡単に分かります。しかし、時間の流れの中のどこに自分はいるのか、ということは、[A]「勉強」しないと分かりません。

時間の流れの中で自分を位置づけること、それが「歴史的なものの見方」というものです。マルクス主義[注1]以来、これが「思考すること」の基本とされています。

たとえば、自分たちの世代を含んだ日本の戦後の文化とか、明治以降の文化や日本の近代以降の中で自分はどういうポジションにいるのか、そういうことを考えるのが、歴史的な発想法です。でも、そういう視点を取る人は、[B]意外に少ないのです。

ぼくはよく「[C]マッピング」ということばを使います。

「マッピング」というのは「地図上のどの点に自分がいるかを特定すること」という意味です。地図の中のどこに自分がいるかということは、「今・ここ・私」を中心にしている限り、絶対に分かりません。当然ですけど。だって、そうでしょ。「地図を見る」というのは、とりあえず、「今・ここ・自分」をかっこに入れて、そこから想像的に遊離して、上空に仮設した「鳥の眼」から見下ろす、ということなんですから。

想像的に視点を自分から離脱させてみる。視座をどんどん遠方にずらせば、遠方から「自分を含んだ風景」を見ることができる。自分自身を含んだ大きな風景を、都市を、大陸を、地球を、想像できる。高度を上げられる人ほど自分の空間的な位置取りについて、より多くの情報を手に入れることができます。

これが空間的なマッピングです。時間の流れの中のマッピングも原理的には同じことです。

自分がどんなふうに形成されてきたのかを見る、ということです。

自分の家庭や会社や共同体、その網目のどこに自分がいて、どのような機能を果たしているのか。どういう要素の複合効果として自分は出現してきたのか。条件がどういうふうに変われば自分は「消え去る」のか。そういうことを考えるのが「時間的マッ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ピング」です。

自分の「前史」を見通すということですね。

今の自分のものの見方や考え方を絶対視する人とは、要するに「マッピング」する知的習慣を持っていない人のことです。「私は私だ」「オレにはオレのやり方があるんだ」という言い方をよく耳にしますが、こういうことを言う人はあまり頭がよくないと判じて構いません。だって、その人の言う「オレ」の構成要素のほとんどは歴史的に「作られたもの」なんですから。その人とまったく同じような「オレ」がこの人の同世代、同地域には掃いて捨てるほどいるということに、この「オレ」さまはまるで気がついていないのです。

「オレはオレだ」と威張っている限り、自分のものの見方が形成された「前史」を知ることはできません。一人で腕組みして、うんうん内省してみても、自分の「前史」は知ることができない。

これはもう「勉強」するしかないのです。

「自分の個性を知る」というのは、「個性的な作品」を作り出すというようなことではありません。

それを勘違いしている若い人が多すぎます。

「自分の個性を知る」というのは、ほんらい[D]「消去法」的な作業なんです。

自分たちの生きている社会の成り立ちを「勉強」することによって、ある世代、ある地域集団の全体にのしかかっている「大気圧」を認識できた人間だけが、それを控除した後になお残っているものを、自分の「個性」として認知できるのです。

もし「個性」というものがほんとうに発見され表現されるべきものだと思うのなら、自分の記憶の中にある偽造され外部から「事後的に」注入された部分を選(え)り出し、除去してゆくという作業が必要になるでしょう。「ビートルズ世代」としてビートルズを聴いて、「全共闘世代」(注2)として学園闘争を戦ったというふうに「偽りの記憶」を内面化させた同時代人をぼくは何人も知っています。彼らはリアルタイムではビートルズなんか聴いてなかったし、学園闘争にも背を向けていた。しかし、その事実は忘れられ、より快適な「共同的記憶」が彼らの自己史には採用されている。もし、この人たちがほんとうに個性的であろうとしたら、共同的な「模造記憶」からではなく、彼らが少年だった頃に、誰とも共有できず、誰にも承認されなかった彼らの内密で、ユニークな幻想や情念を記述するところから始めるべきでしょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

すべての世代はその世代に固有の「正史」を持っています。それはたとえば、流行した音楽やTVの人気番組やマンガや映画の記憶です。「おお、あれな、オレも毎週見てたよ」というふうにして同世代の宴会は盛り上がるわけですが、この「おお、オレも」の相当部分は（たぶんお気づきでしょうが）かなり誇張されています。（ほんとうは「毎週」ではなく「たまに」だったり、あるいは「ぜんぜん」だったり）。

でもこのわずかな（あるいは大幅な）誇張によって「オレたち」という記憶の共同体に「オレ」は<u>住民登録</u>[E]できるわけです。でも、個性的であるというのは、「記憶の共同体」への住民登録を求めないということです。頭にぎっしり詰め込まれた「偽造された共同的記憶」を振り払い、誰にも共有されなかった思考、誰にも言えなかった欲望、一度もことばにできなかった心的過程を拾い集める、ということです。

これは徹底的に知的な営みです。メディアでは人々が「個性的に」ということを実にお気楽に口にしていますが、「個性的である」というのは、ある意味で、とてもきついことです。誰からも承認されないし、誰からも尊敬されないし、誰からも愛されない。そのことを覚悟した人間だけが「個性的であること」に賭金（かけきん）を置けるのですから。

そんなことができる人間はほんとうに少数です。ですから、<u>ほんとうに個性的な人間</u>[F]というのは「オレは個性的な人間だ」と思い込んでいる人間の数の千分の一もいないのです。

（内田樹（うちだたつる）『疲れすぎて眠れぬ夜のために』による）

（注）1　マルクス主義――マルクスとエンゲルスにより確立された思想体系。
　　　2　全共闘世代――一九六八年以後の大学紛争を経験し、影響を受けた世代。

問1　傍線部Aについて。「勉強」するとはどういうことか。左記各項の中から最も適当なもの一つを選び、番号で答えよ。

① マルクス主義的な思考を実践すること
② 前史を見通し、自分の場所を特定すること
③ 歴史的な出来事をよく理解すること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　想像的に自分の視点から離脱すること
⑤　自分だけのものの見方を形成すること

問２　傍線部Ｂについて。なぜそういう視点を取らない人が多いのか。句読点とも十五字以内で記せ。

問３　傍線部Ｃについて。筆者はこれをどんなことだと考えているか。左記各項の中から最も適当なもの一つを選び、番号で答えよ。

①　自分の来し方を思い、視点を仮設し自分を見下ろすこと
②　自分が地図上のどの点に位置するのか特定すること
③　自分というものを遠くから客観的にながめること
④　自分がどうすれば消え去ることになるか考えること
⑤　自分のものの見方の形成過程について内省すること

問４　傍線部Ｄについて。これは具体的にどのような作業か。左記各項の中から最も適当なもの一つを選び、番号で答えよ。

①　社会からの圧力を意識し、それを控除すること
②　社会の中で自分の存在が不要になる瞬間を知ること
③　他人との比較の中で自分の個性を浮かびあがらせること
④　自分と世界との関係を構築し直すこと
⑤　歴史の中から自分と無関係の事実を消していくこと

問５　傍線部Ｅについて。その説明として最も適当なもの一つを、左記各項の中から選び、番号で答えよ。

①　偽りの記憶を正確なものにすること

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② 「オレたち」という幻想の中に紛れ込むこと
③ どの世代にも共通する事象を発見すること
④ メディアによってつくられた現象を誇張すること
⑤ 共有された記憶から個性的な記憶を模造すること

問６　傍線部Ｆについて。これはどのような人間か。左記各項の中から最も適当なもの一つを選び、番号で答えよ。
① 一人で徹底的に考え抜く人間
② マッピングをうまく利用できる人間
③ 誰からも理解されなくても自分を貫く人間
④ 自分がどのように形成されてきたか意識できる人間
⑤ 共同的記憶を振り払える人間

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　内田樹＝うちだ　たつる（一九五〇〜）哲学者。日比谷高校を中退し、大検を経て、東京大学フランス文学科卒、東京都立大大学院修士課程修了。長く神戸女学院大学で教鞭をとった。近年、入試現代文、小論文にて出題頻度が極めて高い。『私家版・ユダヤ文化論』（小林秀雄賞）『日本辺境論』（二〇一〇年新書大賞）など著書多数

●カール＝マルクス（一八一八〜一八八三）ドイツの哲学者、経済学者。資本主義経済を分析し、その矛盾を指摘した『資本論』はあまりに有名。「マルクス経済学」は、ソビエト連邦崩壊以降、魅力と説得力を失っているようですが、社会と人間分析に長けた哲学者マルクスはまだ〝生きている〟と言えそうです

●フリードリッヒ＝エンゲルス（一八二〇〜一八九五）ドイツの思想家でマルクスの盟友。『共産党宣言』はマルクスとの共著。マルクスの死後『資本論』の遺稿をまとめて、出版した。エンゲルスの単著としては『空想から科学へ』が有名

語句

遊離＝ゆうり→離れて存在すること。分離すること。この「遊」はあそびにふけるという意味ではなく、家を離れて歩く、行くという意味　（例）遊説（ゆうぜい）（あちこち演説してまわること）、宇宙遊泳（母船から離れた船外活動。あそんでいません。高度なミッションです）

控除＝こうじょ→差し引くこと、取り除くこと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）現実からユウ離して思考する　①優　②勇　③遊　④雄　⑤誘

（イ）収入から経費をコウ除する　①項　②公　③控　④興　⑤好

（ウ）カク悟を決めて選択する　①角　②確　③殻　④嚇　⑤覚

（エ）通貨ギ造の罪に問われる　①戯　②偽　③欺　④儀　⑤技

（オ）企業からサイ用通知が届く　①彩　②祭　③裁　④災　⑤採

（カ）モ造された記憶を取り去る　①茂　②喪　③藻　④模　⑤漠

（キ）自分のコ有の経験を語る　①個　②固　③己　④孤　⑤庫

（ク）エン会が大いに盛り上がる　①円　②園　③延　④宴　⑤艶

（ケ）コ張した表現を避ける　①呼　②鼓　③誇　④粉　⑤虎

（コ）会員名簿にトウ録する　①登　②踏　③党　④頭　⑤当

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

テキスト解答・解説

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

誤りの選択肢の典型例一覧　〈誤りに名前をつけられるほどのパターンがある！〉

1 **対比混乱の誤り** ……本文中で**対比・区別**されていることばを同種のものとして扱ってしまっている誤り。あるいは、主役キーワードの説明を求めている設問で、敵役キーワードを挙げている誤り。**キーワードのグループ分け失敗**の選択肢といってもいい。

2 **同一性分断の誤り** ……本文中で同種のことばを対比であるかのように扱ってしまっている誤り。これも**キーワードのグループ分け失敗**。**同質性分断**ともいう。

3 **正しい対比喪失の誤り** ……本文中で「**A↔B**」という対比で記述されているのに、無関係な「C」という要素を勝手にもちこんだり、「**C↔D**」といった本文にない対比をもちこんでいる誤り。例えば、本文は「**善↔悪**」という対比で書いているのに、「美」や「醜」という無関係な対比をもちこみ、本文の正しい対比を見失っている誤り。

4 **不当な全称判断** ……本文中の記述がないのに、「**すべての○○は**」「**あらゆる○○は**」と勝手に拡張している誤り。類似した誤りとして**不当な一般化**があります。例えば本文では「バラ」という個別のものに焦点を当てているのに、「花というものは」などと拡張している誤り。

5 **不当な限定判断** ……本文中の記述がないのに、「**○○のみ**」「**○○だけ**」と勝手に縮小してしまっている誤り。類似した誤りとして**不当な矮小化**があります。例えば本文では「人間関係全般」について書いてあるのに、「近所づきあい」の次元を書いている選択肢。話を不当にちっぽけにしているわけです。

6 **不当な価値判断** （不当な当為判断）……本文では「○○である」「○○だ」という事実判断をしているのに、「**○○であるべきだ**」「**○○にしなければならない**」「**○○する必要がある**」と勝手に改変してしまった誤り。またAとBの特徴の比較をしているだけなのに、**Aの方が優れているといった優劣を持ち込んだ**選択肢の誤り。特に論文を読んだり書いたりする上で、「事実判断と価値判断（当為判断）」との違いには気を使う必要があるんだよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7 **部分的指摘の誤り**……本文中では、「AともにB」「Aと同時にB」「AしかもB」と追加表現がなされているのに、「A」だけ、あるいは「B」だけを扱ってしまっている誤り。本文の記述にまったく反しているわけではないため、「高度な」誤りといえます。こういうものに気づけるようになることが、現代文での高得点のカギだよ。

8 **記述に反する誤り**……文字通り、本文中の記述に真っ向から反する選択肢。例えば本文では「AはBである」としているのに「AはBではない」としている誤り。

9 **記述なしの誤り**……文字通り、本文中の記述にはいっさい書いてない内容を勝手にのせている選択肢。ただし、「本文の記述に反しているものを選びなさい」といった間違い探しの設問のとき、本文には書いてないだけで、間違いとはいえないということがあるから注意。つまり、「誤り」としては1～8・10～12のほうが深刻な誤りといえ、そちらを優先する。

10 **文脈喪失の誤り**……文章中で特定の意味づけをして使っていることばを、**文脈外の「常識」や辞書的な意味**で扱ってしまっている誤り。例えば、「飛躍」ということばを、本文は「行き過ぎ」「誤解」という意味付けをして記述しているのに、勝手に「発展」「前進」というようにとらえてしまっているもの。

11 **物理的スリカエの誤り**……**心理や気持ちを問うている設問で、物理的に説明している選択肢**。小説問題の選択肢としてよく出ます。例えば「暗い気持」を天候や日照量の説明にしてしまっている誤り。

12 **比喩を文字通りに解釈した誤り**……本文中で、たとえになっている表現（擬人法もふくむ）を文字通りにとってしまった選択肢の誤り。比喩は立派な表現技法です。これをリアルに解釈するとずいぶんおかしなことになります。例えば「いやー、歩きつかれちゃって、膝（ひざ）がわらってるよ」なんて表現があるけど、ホントに笑ったら怖い！

13 **具体例は、一段、落ちる**……具体例を挙げている選択肢は、「最も適当」な選択肢を選ぶ際には、選びたくない。もっとまとまった語句を盛り込んでいる選択肢が正解になる。

14 **比喩による説明は、一段、落ちる**……たとえで説明している選択肢は、「最も適当」な選択肢を選ぶ際には、選びたくない。もっと明示的な語句を盛り込んでいる選択肢が正解になる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　家族論・自己責任論

《本文の対比構造》

主役＝筆者の見解

婚姻を社会集団間の近隣友好関係のなかで考える立場

条件／安定的な関係

- ●ピエール・ブルデュー
- ●ウィリアム・シェイクスピア
- ●フランシス・ベーコン
- ●レヴィ＝ストロース

主な対比

小さな対比

敵役1＝自己責任論・自由な恋愛

恋愛という名の自由競争

自由な恋愛

婚姻を自己責任と考える立場

- ●林　真理子
- ●川島　武宜
- ●タルコット・パーソンズ

敵役2

戦前の旧民法・家父長制

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《キーワード分類・選択肢》

傍線が引かれた五つのキーワードのうち、筆者が肯定的に使っているのは、ただ一つだけです。それほど、敵役や比較相手がどっさり出てくるということでもあります。文章の読解力とは対比で文章を読める能力だ、ということを語りかけてくるような設問ですね。

さてＡ「『恋愛という名の自由競争』」は林真理子さんの見解として紹介、批判されているものです。恋愛や結婚を「自己責任」と考えるグループのことばです。つまり敵役です。これを選んだりしたら、対比混乱の誤りということになりますよ。

Ｂ「『恋愛結婚』イデオロギー」も同様です。「家の歴史のない米国だからこそ、近代社会で生み出されたにすぎない」発想です。筆者が強調するような、もっと大きな社会関係のなかで恋愛や結婚を考えることをしないグループのことばです。これを選んだら対比混乱の誤りです。

Ｄ「『仲間型』の夫婦関係」もこれまた「自己責任」グループです。受講生みなさんの価値観として、どんなに自由な恋愛や恋愛結婚にあこがれていようと、現代文解答では、冷静に筆者の論理に付いて行ってくださいよ。

Ｃ「家父長制的な『家制度』」は、〞敵役その２〟です。恋愛や結婚を自由とか自己責任とは考えないグループではありますが、「旧民法下の『家制度』による青年男女への抑圧」をともなうため、筆者はこれも退けています。

正解は、Ｅ「『婚姻戦略にのっとったゲーム』」です。フランスのピエール・ブルデューの考え方です（お名前からしてカッコイイ）。「家や地域社会、学校、会社などで培われた、人間関係や家と家との関係を円滑に作り上げていくゲーム」とあります。恋愛や結婚を個人の問題とせず、大きな関連事項とともに考える立場です。

問２《空欄補充・選択肢》

敵役の「自己責任」「自由な恋愛」の側のことばが空欄に入ります。なぜなら「『［Ｆ］』という言葉は、ある意味で空語～実は世界中どこにも存在しない事柄だと言っていいのです」と筆者は断じているからです。いいですか、問いのすべてが筆者側のキーワードを問うてくるとは限らないのですぞ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

①は、まず「安定的な条件を満たす結婚相手」が×です。これでは筆者側のキーワードになります。ただちに対比混乱の誤りを構成します。さらに「自分の正直な感情を無視して」も×です。〝正直⟷不正直〟という対比の文章ではないからです。正しい対比は〝自己責任・自由恋愛⟷社会集団・条件〟です。したがって、正しい対比喪失の誤りです。

②はどうか。前半の「自由な感情と判断力をもつ主体者として」は敵役の説明としてOKでしょう。ところが、後半でやっちまいました!「人間関係や家と家との関係に配慮し」は筆者側ですよね。これを対比混乱の誤りと呼ばずして他になんと呼ぼう!(思わず興奮してしまいました)

③の「協力関係にある家族集団の一員として、その協力関係をさらに強めるために」、⑤の「険悪な関係にある社会集団の構成員として、その関係を修復するために」は、スミからスミまでずずずいっと筆者側の見解です。この問いが敵役を求めているのだ、ということがわかっていれば、シラジラシイ間違いだとわかります。対比混乱の誤りです。関東の難関大学であってもこういうふうにして間違いをつくっているのか、という理解があれば、現代文で合格点を取るのは決して難しくありません。

正解は、④です。「たがいに理性をもつ自由な独立の意思の主体者として、自分の責任において恋愛する」はまぎれもなく敵役ですよね。

問３《空欄補充・選択肢》

『ロミオとジュリエット』という悲劇に関する問題です。ロマンチックですね、と言いたいところですが、ちょっと違います。いえ、だいぶ違います。筆者が主張しているように、伝統的に人々は大きな社会集団や、社会集団間の安定的な関係を大事にしてきました。それをロミオとジュリエットが台無しにしてしまう「悲劇」です。本文には「私は、『ロミオとジュリエット』の世界は、まぎれもなく[G]悲劇だと思っています」とあります。直接のヒントは一つあとの段落にあります。すなわち、「対立している双方の属する社会集団にとって大変な『わざわい』」、さらに「『自分の責任において』恋愛しているつもりが、属する社会集団にとってとんでもない悲劇を起こしてしまう」とあり、これらと同内容の選択肢を選びます。

『婚姻』が社会集団の合意形成を必要とするのに、幼い無分別な二人が情念のおもむくままにそれを無理に突破しようとして生まれた」の②が正解です。以下、他のものをチェックします。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

①はどうか。「『婚姻』が社会集団の合意形成を必要とするので」はOK。ところが後半の「自己の責任において社会集団の合意にしたがおうとして」がイケマセン。笑っちゃうほどの対比混乱の誤りですね。

③はどうでしょう。「『婚姻』が社会集団の合意形成と無関係なのに」がいきなり×です。関係ありありですから。この時点で記述に反する誤りと言っても、対比混乱の誤りと言ってもいいです。さらに後半の「幼いが分別のある二人が」があきれかえって失笑してしまいます。社会集団にわざわいをもたらしたのですから、分別あると言えるわけないでしょ。記述に反する誤りです。

④はどうか。まず、「『婚姻』が社会集団の合意形成と無関係なのに」が③の前半と同じ間違い。加えて、後半の「二人が自分の責任で社会集団の合意形成を求めた」は、①の後半と同じ間違い。新鮮な間違いが次々出るのではなく、似たようなものが繰り返し出てくることがある、こういうことは知っておきましょうね。解答がスピーディになります。

⑤も「『婚姻』が社会集団の合意形成を必要としないのに」が③④の前半と同種の間違い。さらに後半では「幼く無防備な二人が」がヘンです。〝自己防衛ばっちり⟷無防備〟というような対比はないのですから、正しい対比喪失の誤りです。

問４《全体の理解・選択肢》

筆者の考えと合致したものを選ぶ、正攻法の問題です。①から見ていきましょう。「『自己責任』という視点から就職と結婚を同等視するのは、～誤りだ」という部分はOKです。頭としっぽはOKです。しかし、中身がいけません。「日本とアメリカの社会の違いを無視している」という箇所がマズイです。ヘンなものを比較してますでしょ。「日本とアメリカの社会の違い」は、正しい対比喪失の誤りです。さらに言うと、今回の日本代表「林真理子」「川島武宜」、アメリカ代表「タルコット・パーソンズ」は同じ敵役です。そういう点では、同一性分断の誤りです。

②はどうでしょう。「自己責任に基づかない単なる情念による恋愛では無責任であり、社会的に認めることはできない」では、「自己責任」が大事ということになってしまいますから、対比混乱の誤りです。

③はどうかな。「人間は交友のネットワークの中でゲーム感覚により結婚相手を探すので」はまあ、よいでしょう。ところが、後半「結婚も自己責任によるゲームだ」とあります。ハァーとためいきが出そうです。「ゲーム」は筆者側、「自己責任」は敵役

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

でしょ。これも対比混乱の誤りです。

④は「人はいつでもいくつかの社会関係の中で生きているので、結婚相手の選択にもそういった要素が影響を与えている」とあり、筆者の見解に沿っています。これが正解です。

⑤を確認します。「自由な恋愛はめったになく、それだけ貴重なものなので」が×です。敵役キーワードを「貴重」とほめてしまいましたね。トンチンカンですね。皆さんも気づきましたよね。こういうトンチンカンこそが対比混乱の誤りと呼ばれるものの正体です。

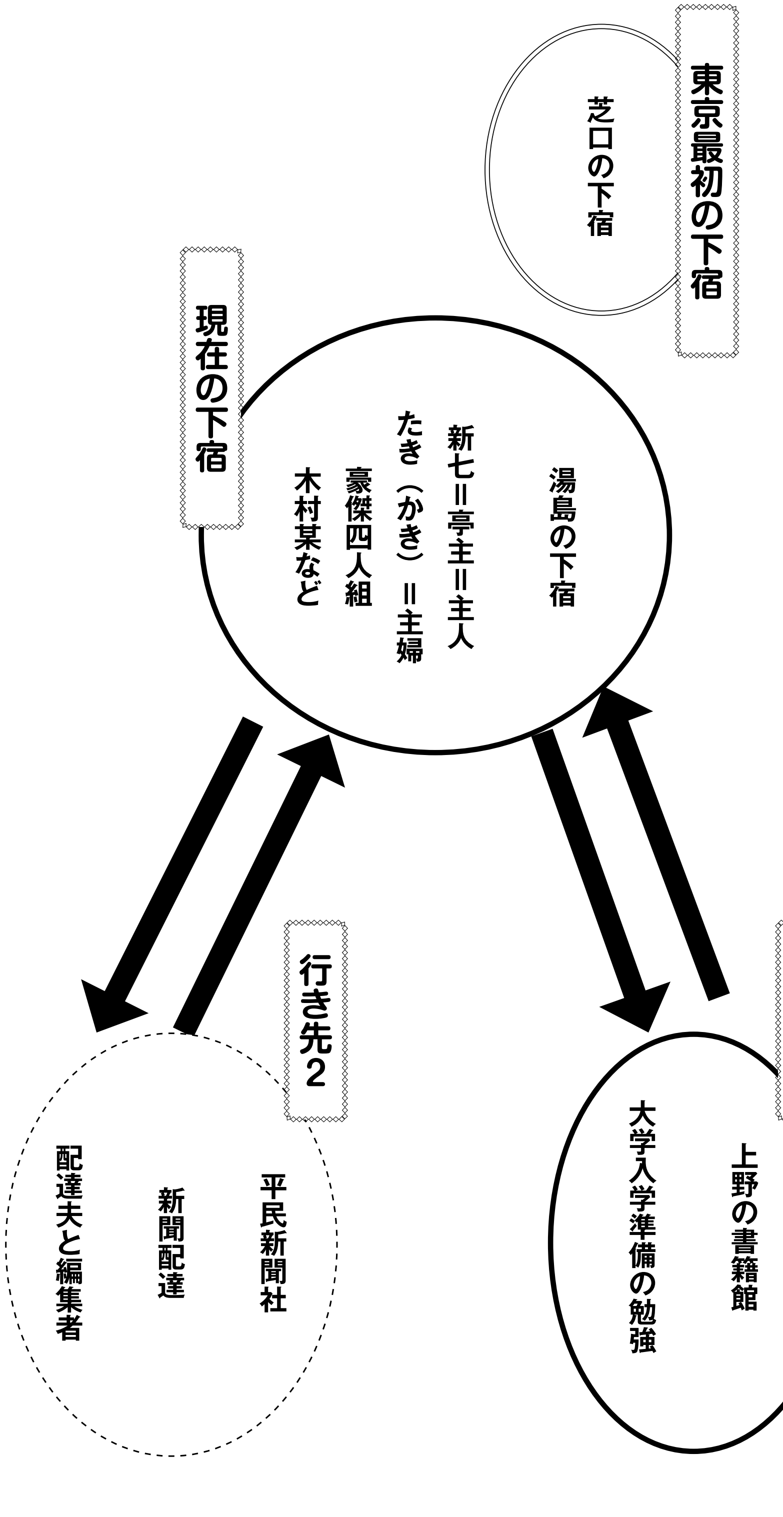
模範解答

問1＝E　問2＝④　問3＝②　問4＝④

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　随筆（近代文語文）

《本文の人物・場所相関図》



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《傍線部説明・選択肢》

「穿つた評判」とは、深読みしたうわさということです。事実かどうかはわからないがちょっとした悪評が広がっているということです。内容を言うと、まず、湯島の下宿先の主婦が次々とお手伝いさんを辞めさせて入れ替える事実があります。それがあまりにも何回もあるところから、給料を払わないで人を使う（見習い期間中だから給料はなしというような）方法を主婦が見つけたのではないかと評判になったのです。したがって、ｂ「たきとかきとかいう主婦が給料を払わずに下婢を使う方法を見つけたという評判」が正解です。

他の選択肢をチェックします。ａは「下婢が十三回も替わったという評判」が×です。それは評判ではなく事実です。記述に反する誤りです。ｃも同様で「主婦は下婢を更迭するくせがあるという評判」とありますが、これも評判ではなく事実です。ｄ「手固い下宿屋といわれている反面、休みの朝などドタバタと相撲などをし、落ちつかないという評判」はどうでしょう。もう主婦の話でなくなっている点で×ですし、「相撲」も評判ではなく事実です。記述に反する誤りです。動画では、事実と評判の色分けをしています。ゆえにこの点では、ａ・ｃ・ｄは対比混乱の誤りでもあります。

問２《傍線部説明・選択肢》

主人から金なんか貸さない方がいいですよと警告を受けていた、その木村くんがさっそくやってきます。「壱円立替へて呉れませんか」「嚢底無一文の由答ふる（財布には一銭もないよという内容のことを答える）」が最初のやり取りです。これでは引き下がらない木村くんは「君の羽織か、不用の着物でも宜から一寸ほんの一寸貸して呉れませんか」とたたみかけてきます。よほど金が必要なんですね。もちろん「僕」は、その着物を質屋で現金化するつもりだろうと見抜いています。ただし、それをストレートに言い放っても「僕が一生の大出来（わが人生史上、もっともうまく言い返した、上出来だぜ）」とはなりません。そこで換金目的と見透かしたうえで、服を借りたいというのは「お寒いのですか」と切り返したわけです。木村くんも金が欲しいんだとストレートに言わず着物をちょっと「貸して」と言ったのに対して、「僕」も金なんか貸さないよと言わずに、婉曲に断ることに成功しています。こうした皮肉や逆説性など〝言葉の二重性〟は好んで入試に出されます。したがって、ｃ「羽織か着物

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

を『ほんの一寸貸して呉れませんか』という願いに、皮肉ぽく婉曲に断ることが出来たから」が正解です。

他の選択肢を吟味してみましょう。a「『お金などお貸しなさいますな』という宿の主人の言葉に引かれて、借金を断わることが出来たから」ではマンマです。ストレートです。ひねりも二重性もありません。b「『壱円立替へて呉れませんか』という無心に、無一文であると答えたから」は、ひねりのない一回目のやり取りです。d「『何卒以来お心安く』となれなれしく入ってくる人間に対して警戒心をもって対応できたから」では着物が出てきません。ひねりもありません。動画では、これら〝ストレート〟〝ひねりなし〟と正答の〝ひねりあり〟を色分けしています。したがって、この点では、a・b・dは対比混乱の誤りといえます。

問3《傍線部説明・選択肢》

「逆鱗に触れた」とは、ひどく相手を怒らせた、感情を逆なでして激昂させたということです。どうしてかというと、ある学校教師の講義録を浄写（きれいに清書）する仕事を引き受けた「僕」が文章の内容にまで踏み込んで添削（よくない部分をカットしたり、よりよい表現を足したり）したからです。それで先生が怒っているのです。したがって、c「清書をすればよいだけだったのに、文章のまずい部分を直してしまったから」が正解です。ちなみに、私（小柴大輔）も小論文の答案を添削しますが、愛情をもって赤ペンを入れ、修正されて感激と生徒さんに思ってもらえるよう努力をしております。

他の選択肢を吟味します。aは、まず「きれいに文章を整える約束だったのに」が×です。頼まれた仕事、つまり「約束」に相当するのは「浄写」です。「文章を整える」など修正を加えることではありません。記述に反する誤りです。また「あまりに誤字が多かったから」も記述に反する誤りです。本文に「誤写が夥しい」とありますが、それは「僕」がこの仕事を辞めさせられる「口実」です。

b「清書した講義録の内容を全く書きかえてしまったから」は「全く書きかえて」が誤りです。本文に根拠なく〝あらゆる・すべての・いつでも・どこでも〟と大きく語ってしまうのは、不当な全称判断です。添削は部分的な修正のことです。全く書きかえてしまったら、ほぼ創作ですな。

d「添削までした割には、きれいに講義録を写しとることができていなかったから」はどうか。「添削」こそ怒りの原因なの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

当の解雇理由）」を色分けしています。したがって、この点では、ａ・ｄは対比混乱の誤りでもあります。そこは「口実」にすぎません。記述に反する誤りです。動画では、「正式な依頼」と「口実（表面上の解雇理由）」と「事実（本にそこはお咎めなしにしている点がまずアウト。次に「きれいに講義録を写しとることができていなかった」が×。ａと同様に、

問４《傍線部説明・選択肢》

まず、新聞配達と大学入学の準備で昼夜逆転の生活をしていたことが書かれています。また「睡眠時間が如何しても不足」とも書かれています。そのせいで図書館で鼾を立てて周りの顰蹙を買った経験も書かれています。これらが前提・前フリとしてあって、さあ「其後は少し怪しくなると」、外に出て庭のベンチで「三十分か一時間快よく睡つて」また戻るというようなことをしたわけです。したがって「少し怪しくなる」とは眠気がおそってきたな、このまま睡魔に抵抗できるか自信がないということです。ａ「このまま書籍を読みつづけていると眠り込んでしまいそうな気になると」が正解です。

他の選択肢をチェックします。ｂ「書物の内容を本当に理解しているのか、自分で確信が持てなくなると」では、眠気とは関係なくなってます。まあ、一度で内容理解できないなら、何度も読まないとね。それから対比で文章読んでるか、と忠告したくなりますね。ともあれ、今回は理解力の問題ではありません。

ｃ「勉強は続けたいのだが、書籍館の中の雰囲気が険悪になってくると」は二重に間違えています。まず、勉強を続ける自信がないほど眠気がやってきているということ、さらに「雰囲気が険悪」になるのは、鼾をかくほど寝てしまった結果として生じることです。まだ寝入ってませんから！　つまり記述に反する誤りです。

ｄ「読書よりも散歩がしたいような気分になると」も記述に反する誤りです。まず読書・勉強がメインです。同じ段落の最後に、「上野の森」を散策するようなシーンが描かれ、「僕は今も非常に、上野の森を愛する」とありますが、この散策場面は図書館の「閉館の時刻」になってからの話です。

問５《全体の理解・正誤問題》

ａ「筆者が東京で初めて住んだのは湯島にある室料の安い下宿であった。」について、第一段落に「僕が東京での初夢を結ん

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

だ芝口の宿屋」という表現があります。したがって「東京で初めて住んだのは湯島」は誤りです。記述に反する誤りです。また、動画では「湯島」と「芝口」を色分けしていますから、この点では対比混乱の誤りです。

ｂ「下宿を共にする連中は、下宿の亭主が言うところの『お堅い方ばかり』であったが、その内の豪傑四人組が日曜や祭日の朝に二階で相撲や柔術のどたばたをするのにはいささか閉口した。」は本文の内容に合っています。豪傑組の四人について「聊（いささ）か弱った」と書いてありますから。「閉口」とは、手におえなくて困る、弱ることです。辟易（へきえき）とも言います。

ｃ「木村某は、長崎の高等中学で落第をつづけ、東京にやってきた。」は誤りです。本文には「木村某と云ふ青年、長崎の者で高等中学を頼りに落第する男とか、東京馴れた愛嬌者」とあります。落第を続けているのは、東京の高等中学ということになります。そうでないと「東京馴れた」と適合しません。あらためてｃは記述に反する誤りということになります。

ｄ「燈油代を節約したかったので、燈火を消して三時間ほど寝たり、平民新聞社の土間の薄暗いランプを利用して新聞を読んだりした。」は最終段落の記述に合致しています。「燈火（あかり）を消して三時間ばかり寝る」「燈油（あぶら）代の節倹」「平民新聞社の土間」「薄暗いランプ」「新聞を借りて読むだ」など全部書いてあります。

ｅ「勉強をつづけるためには、なれない新聞配達の仕事を昼夜の別なく続けなければいけなくなったので、たまの休みに書籍館で大学入試の準備をする際には、居眠りをすることもしばしばだった。」のうち「昼夜の別なく」が×です。正しくは「昼夜顚倒」です。昼夜が逆転する生活だったということで、昼も夜も区別なくずっと仕事していたわけではありません。記述に反する誤りです。

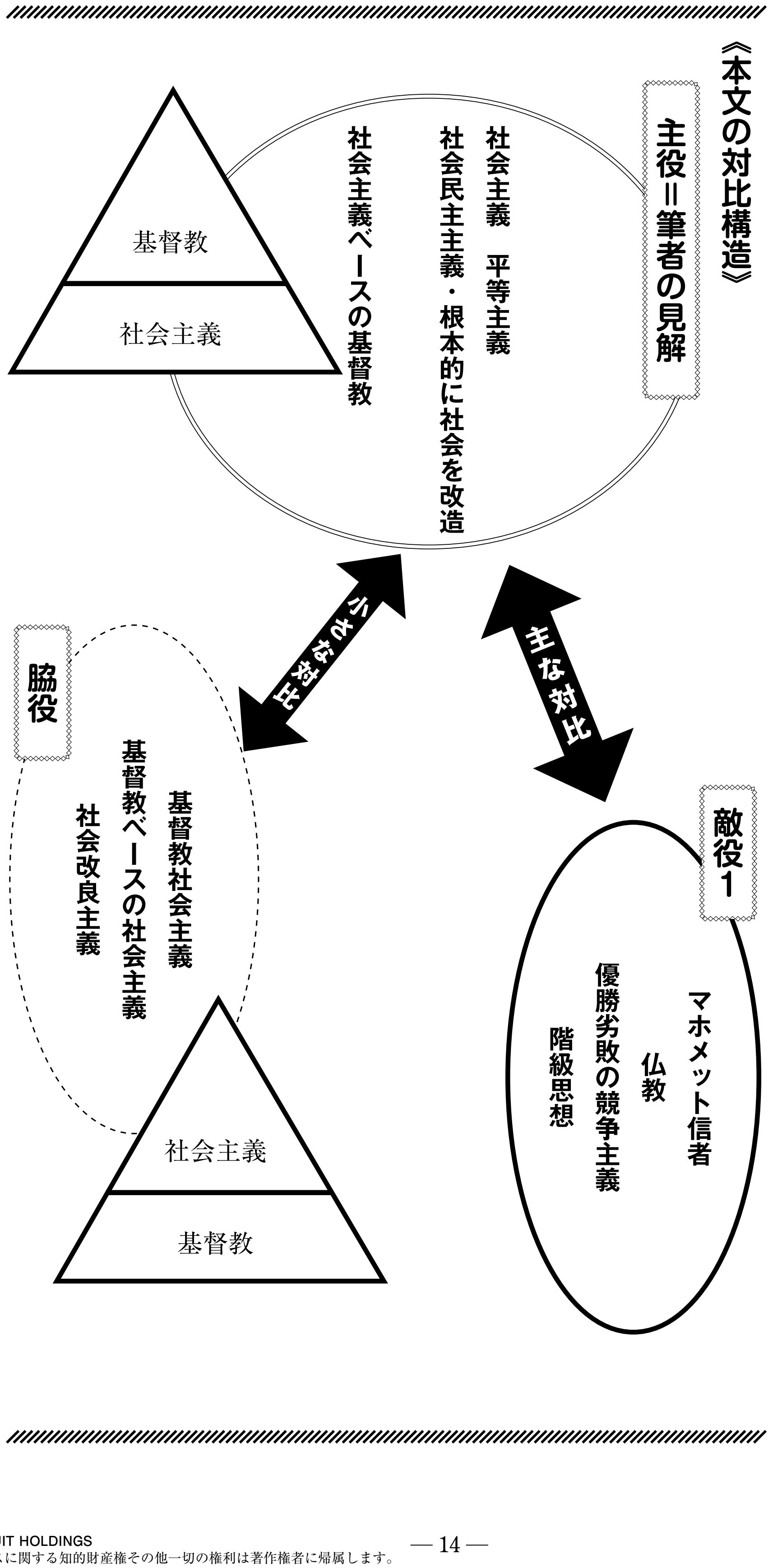
模範解答

問１＝ｂ　問２＝ｃ　問３＝ｃ　問４＝ａ

問５　ａ＝Ｂ　ｂ＝Ａ　ｃ＝Ｂ　ｄ＝Ａ　ｅ＝Ｂ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　付録（近代文語文）



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《現代語にしました》

キリスト教は、この世の貧困の苦しみおよび不幸を、直ちに救済することに着手した。しかもその救済の栄誉を神のもの、神のおかげとしようとしたのである。社会主義が貧困の苦しみに対して採用する解決法も、またこれに等しい。自由競争主義を称賛する人は、貧富の格差を優勝劣敗の結果だ、能力の高い者が高額所得で、能力の劣るものが低所得になるのは当然の結果で、自然法則だとあきらめる態度は、イスラム教徒が運命説（人の幸不幸は運命で決まっている）を固く守っている態度と同じようなものだ。彼らが劣った者が敗れ、貧困にあえぐ姿を見て努力が足りないからだとみなす態度は、ちょうど仏教が人の不幸を前世でよくないことをした報い（因果応報）だと言うのと同じではないか。社会主義は、これらの道理に合わない説に反抗するために提起された。貧者の多数は、決して自己の過失のために貧困に陥ったのではない。その責任は彼らにあるのではなくて、社会組織そのものにあると真実を解き明かしたのが社会主義である。そうであるから私は、この点において社会主義とキリスト教との類似を見るのである。

キリスト教も社会主義も、弱者にむけて同情を表すという点において一致している。もちろん、世界を包み込むほどの大主義は、決して一つの階級や一つの部局の人にのみに神の祝福や幸福を伝えようとするものではない。ゆえにキリストの弟子、ポーロ（パウロ）のように、ユダヤ人に対してもギリシャ人に対しても、また貧しい人にも裕福な人にも関わり責任を負うと言っている。社会主義をもって単に貧者の利益を実現しようとするものと考えるのは、誤りである。私が見るところでは、社会主義によって利益を得る者は、ただ貧者のみではない。富者もまた生活の安心と安定を得て、真に人生の愉快を味わうことができるのである。そうであるから、キリスト教も社会主義も、等しくみんなを愛する（一視同仁）心をもって成立したことは疑いない。

けれども、もしその同情の最も多く注がれるのはどの階級かといえば、それはいうまでもなくこの世の弱者である。キリストは、その活動をはじめるにあたって、明白に自己の主張を宣言している。彼がバプテズマのヨハネ（洗礼のヨハネ・イエスの先駆者）に心を寄せ、多くを修養して学び、キリストの郷里に帰って来て、彼の親戚及び知人は、一日、会堂に集まり、彼の新説を聴くことを求めた。彼はゆっくりと演壇に進んで最初の演説を試みようとした。そこで彼がイザヤ書（旧約聖書の一節）から、引用して語った句は、実に次のようなものであった。『主の霊、我とともにおられるゆえに、貧者に神の祝福があることを伝えさせるために、私にあぶらを注いで神の使いとして任じ、心を痛めたものを癒し、また囚人を釈放し、目の見えない者を見える

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ようにすることを示し、また政治的に圧制されたものを自由にし、神のめぐみがあるということを広めるために私を遣わしたのだ』。

これは実にキリストの宣言書であって、彼が貧者、囚人、目の見えぬ者および抑圧を受けた者に対する同情のいかに深いかを思い知ることができるではないか。私は社会主義の歴史を見て、その同情が主として貧者弱者の上にあることを思い、この点においてもこの二者が活動の趣旨として同じであることを知るのである。

さらに進んで、この二つの主義がいかに弱者に対して大きな慰めを与えるかを見よ。キリスト教は決して弱者を弱者として見ず、罪人を罪人として見ないのである。いかに汚濁のけがれた生涯を送った人だとしても、一度悔い改めたのならば、彼は神の子と呼ばれうる。神は私たちの罪を忘れてくださるとは、旧約聖書が書き記していることだ。社会は私たちが犯したかつての悪事を記憶しているかもしれない。侮蔑とののしりが世間の人々の口からでるかもしれない。しかし、神の前で、私たちは無罪の宣告を受けたのである。世の弱者に対してこれにまさる神の祝福がほかにあるだろうか。

こうしてキリスト教主義が精神的方面において絶対的寛容主義をかかげるのと同じように、社会主義は物質的方面において同一の主義を主張するのである。今の社会での競争に打ち負けた弱者劣者も、社会主義が行われる社会においては一人前の人間として取り扱われるではないか。自由競争主義はあくまでも各人の能力に応じてその報酬を変えるべきと主張することは、まるで倫理学者が各人の行為により優劣を決定するのと同じである。けれども、社会主義はキリスト教の寛容主義と同じく、誰をも同等の地位にあるとみなして同一の取り扱いをしようとするのである。いったん悔い改めて神の前に立ったならば、どの人もみんな等しく神の子になるではないか。比較的罪悪の少ない者が罪悪の多い者に優越して特別の取り扱いを受けようとするなど、僭越・出過ぎたまねであることは甚だしい。社会主義の実行は、人類全体にとって大きな福祉・幸福である、希望の光である。この福祉・幸福の中にいながら、なおごくわずかな違いを言い立てて特別な取り扱いを求めるような行為は、きわめて愚かしいことではないか。大赦令（無条件に囚人全員を無罪放免にする命令）発布のもとでは罪の軽さや重さに関係なく、囚人みんながその恩恵を受けるのである。キリスト教も社会主義もある意味において大赦令であって、平等主義の立場から人類を救済しようとするのである。世の中の弱者がこれによって大きな慰めと安心を得るのは当然のことである。

キリスト教が大胆に平等主義を宣伝する点において、社会主義のゆく道とまったく同一である。宗教家の目には貧富の区別も

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

なく知り合いかどうかの違いもない。同胞兄弟（みんな仲間で兄弟）という観念は、階級思想を完全に打破するものである。私たちは神の子ではないか。王侯貴族といえどもまた私たちの仲間だとは、宗教家が普通の当たり前のこととして考えていることである。神は天地、この世のすべてを包容、包み込む者ではないか。数億キロ離れたこの世界の片隅においても、神はなお存在なさっているのではないか。私たちが生存する地球は大海の一滴、大きな世界のごく一部であり、その小さなひと塊りにすぎない地上にて生きている私たち人類が階級を人為的に立てて、あるものは階級が上であることを誇り、あるものはそれをうらやむなど、あまりにも気の小さい話ではないか。ひるがえって私たちはどの人も神の子であることを思えば、小さな差異を目立たせて互いに争う姿などは、まったく児戯、子供並みの行為に属すると言わなければならない。社会主義が提起されたのも、まったくこの平等主義を実行しようとするためである。キリスト教が精神的方面から平等主義を唱えるのに対して、社会主義はまず経済上の平等を実行し、しだいにこれを政治、社会、道徳の方面に広げていこうとするのである。

以上に述べたように、社会主義とキリスト教は、その主張において互いに似たところがあるだけでなく、両者が提携・協力しなければ、それぞれの目的を達成することも困難であろう。私は社会主義が提唱するような社会にならなければ、到底キリスト教の道徳が実行されうるとは信じることができない。いかに博愛・平等な愛情が私たちの養うべき美徳だとはいえ、現実社会においていかんなく存分にこれを実行することはできないではないか。私が思うに、現実社会においては、自己と他者の利益は互いに反することが少なくない。したがって、私たちは道徳を行うときに多くの困難を感じるのである。もし社会が平等主義と協同主義の上に立脚したら、私たちのどんな発言、どんな行為も、自然と博愛の道に合致することになるだろう。キリスト教が社会主義の助けを借りるべきなのは、当然のことではないか。

けれども、社会組織の改革は、個人という基礎を無視して実行することはできない。社会主義の提唱する社会組織の現出するときには、もはや個人の道徳品性も今日のありさまとは異なってよくなるであろうことを予想しなければならない。ゆえに、社会主義を宣伝する者は、同時に精神的方面にも努力するところがなくてはならない。私はその精神的方面が必ずキリスト教でなければならないとまで言うつもりはない。しかしキリスト教がもつような精神をもつことは必要である。言い換えれば、私たちはあくまでも自ら清潔な品性を修養して改革の事業に当たらなければならないのである。

世の中には、しばしば私の主張のことをキリスト教社会主義と呼ぶ人がいる。私はあえてこの名称を拒む気はないけれども、

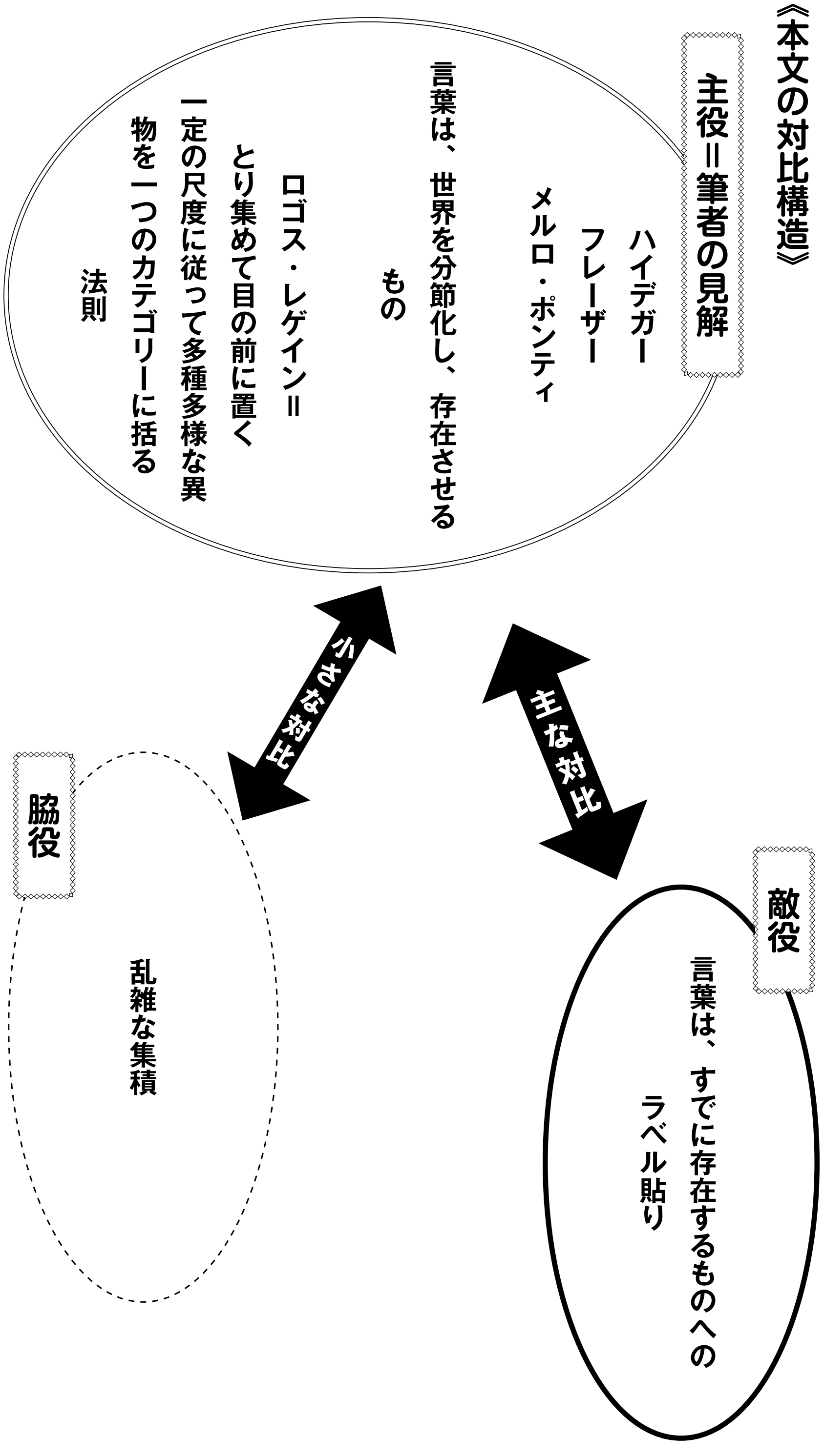
© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

この名称のため、いくらか誤解の発生することがないともいえない。私はキリスト教の精神に基づきながら社会主義を宣伝しているのだけれど、このために社会主義の主張を変化させるようなことはない。私はイギリスなどにおけるキリスト教社会主義のように、単に社会改良主義を主張して満足するものではない。私はここに明言する。私の社会主義は社会民主主義であり、もっとも根本的に社会を改革しようと主張するのである。ただ私は、この任務のいかに重くて大きいかを思うがゆえに、まず自己を修養し磨く必要を感じるとともに、この社会主義を大いに精神的方面に発展させようと願っているのである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　言語論

《本文の対比構造》



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《空欄補充・選択肢》

メインテーマである「ロゴス」の根源的意味について説明している箇所です。「とり集めて目の前に置く」の言い換えです。しかも「乱雑な集積」の反対で「一定の尺度」に従うものです。空欄の後にある言葉としては、「分類と整頓」「法則」がヒントです。そこからｃ「秩序化と統一」が正解と判断できます。

他の選択肢を点検します。ａ「整理と集積」は、「整理」はＯＫですが、「集積」が×です。たちまち対比混乱の誤りになってしまいます。ｂ「組織化と連合」はどうか。どちらもまとめるという意味ですが、ただまとめればよいのではなく、一つの尺度・基準でまとめることが重要です。「国際連合」の言葉どおり、およそ二〇〇の国家の集合ですが、利害の対立がいつもあって、国連決議などなかなかまとまりません。ｄ「分析と法則」は、「法則」はＯＫですが「分析」が×です。「分析」はバラバラに細分化して調べることですから。一つにまとめるのとは方向性が正反対です。記述に反する誤りと言えます。ｅ「総合と配分」はどうでしょう。「総合」は「分析」の対義語ですから、まずはＯＫです。しかし「配分」がイケマセン。「配分」は一つにまとめるのではなく、逆で集めたものをばらして配ることです。

問２《空欄補充・選択肢》

空欄直前の「名が対象と同じ力をもつ、もしくは対象を出現させる」の言い換えになるものを選びます。空欄直後では、「『存在する』と『命名する』とはシノニム（同義語という意味です）」がヒントです。言葉には物事を存在させてしまう威力が備わっている、言葉そのものがある意味で生きているということです。これにあたるのがｃ「言霊（ことだま）思想」です。地水火風など自然物も含めてすべてのものに魂が宿るとの考え方をアニミズムと言いますが、言霊思想では、言葉にも威力を備えた魂（アニマ）が宿ると考えるわけです。

では他の選択肢を吟味します。ａ「心霊現象」では、オカルトです。夜中に家具が飛び上がるような話です。ポルターガイスト現象かよ！　記述に反する誤りです。ｂ「神秘思想」では漠然としすぎです。あくまでも〝言葉についての神秘〟を表現しないとね。同様にｄ「精神現象」も漠然です。〝言葉にある種の魂・霊・精神が宿る〟ということを表現しないと。ｅ「多神教思想」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

はどうでしょう。物事を存在させる力なんて、神様みたいです。なるほど、本文にもヨハネ伝福音書の「太初に言（ロゴス）ありき。言は神と偕にあり、言は神なりき。」が紹介されています。しかし、福音書ですから、「多神教」ではなく一神教の話です。その点では対比混乱の誤りです。

問３《空欄補充・選択肢》

空欄直前の「〈語る〉ことは真の意味で〈名づける〉こと」の言い換えになるものを選びます。同じ段落中の表現では「対象物というものは、それが名前をもった時にはじめて知られ、存在する」がヒントです。人間はありのままの自然・世界を見て理解しているわけではないのです。ヒノキやクスノキやスギノキが分かれて存在しているのではなく、人間がそうしたネーミングを与えることで、別々のものとして認識・理解されるのです。したがって、ａ「言葉による外界の解釈」が正解です。

他の選択肢を吟味してみましょう。ｂ「言語による自己の分析」は「自己」が×です。「外界・世界」でないと。記述に反する誤りです。なるほど、空欄直後に「そして世界が差異化されると同時に、私たちの身と意識の方も差異化されるという相互作用を見逃してはなるまい」とあります。しかし、「そして」とあるように、空欄ハの内容が済んでからの内容です。

ｃ「人間にのみ可能な能力の開発」はどうして×なのでしょうか。たしかに第三段落に「森羅万象をカテゴリー化して意味あるものと見ることのできるのは人間だけ」とあります。「人間にのみ可能な能力」は本文に合致しますが、「開発」がイケマセン。未開発な能力を開発して引き出すぞというような〝未開発⟷開発〞という対比では文章は書かれていないのです。正しい対比喪失の誤りです。

ｄ「対象に人間的な意味を与えること」はどうか。ｃの解説でも参照したように「森羅万象をカテゴリー化して意味あるものと見ることのできるのは人間だけ」という表現は本文にあります。つまり「意味」「人間」という言葉遣いはあります。しかし、「対象に**人間的な**意味を与える」では、犬のことを〝家族同様に愛すべきもの〞と呼んだり、猫のことを〝私の哀しみのよき理解者〞と呼ぶようなもので、ヒューマンタッチで、センチメンタルな意味づけをするという主旨になってしまいます。記述に反する誤りです。

ｅ「自己と外界との精神的な接触」は「接触」がダメです。触れ合うのではなく、存在させる、意味づける、解釈するなどで

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ないとね。記述に反する誤りです。

問４《抜き出し》

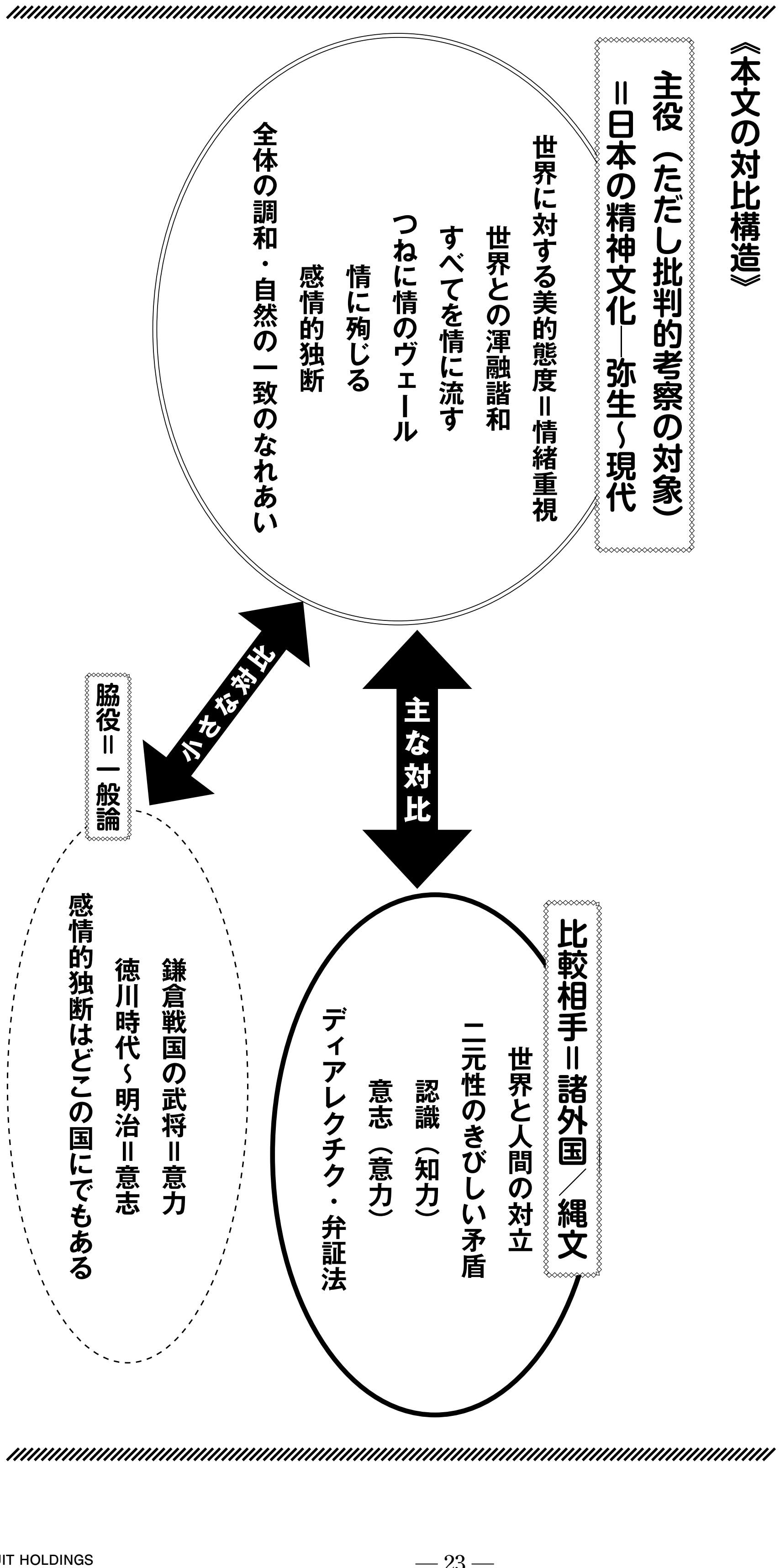
傍線部は、言葉・ロゴスのもつ根源的なはたらき・力のことを語っています。この力については第三段落にてハイデガーを自分の応援として登場させせつつ説明しています。すなわち、「ハイデガーの考えでは、森羅万象をカテゴリー化して意味あるものと見ることのできるのは人間だけであり、これはアニマル・シンボリクム（象徴を操（あやつ）る動物）としての人間が有する言葉の力によるものにほかならない。」というように。二十五字前後という文字制限におさまるように一番意味の近い箇所を抜き出します。そうすると「森羅万象をカテゴリー化して意味あるものと見ること」となります。

空欄ロの次の段落にも近い表現があります。「世界のロゴス化とは、それまで分節されていなかったマグマの如き生体験の連続体に区切りを入れて、**これを**観念なり事物なりのカテゴリーとして存在せしめることなのである。」です。ことば・ロゴスの力、存在喚起力も言い換えといえます。しかし字数的につらいですね。「観念なり事物なりのカテゴリーとして存在せしめること」なら二十五字なのですが、やはり「これを」の中身（この場合「生体験の連続体」）に触れたいですね。おしいので、ここを使ったら△とします。やはり完全解答は「森羅万象を」と対象物まで入っているとよいですよね。

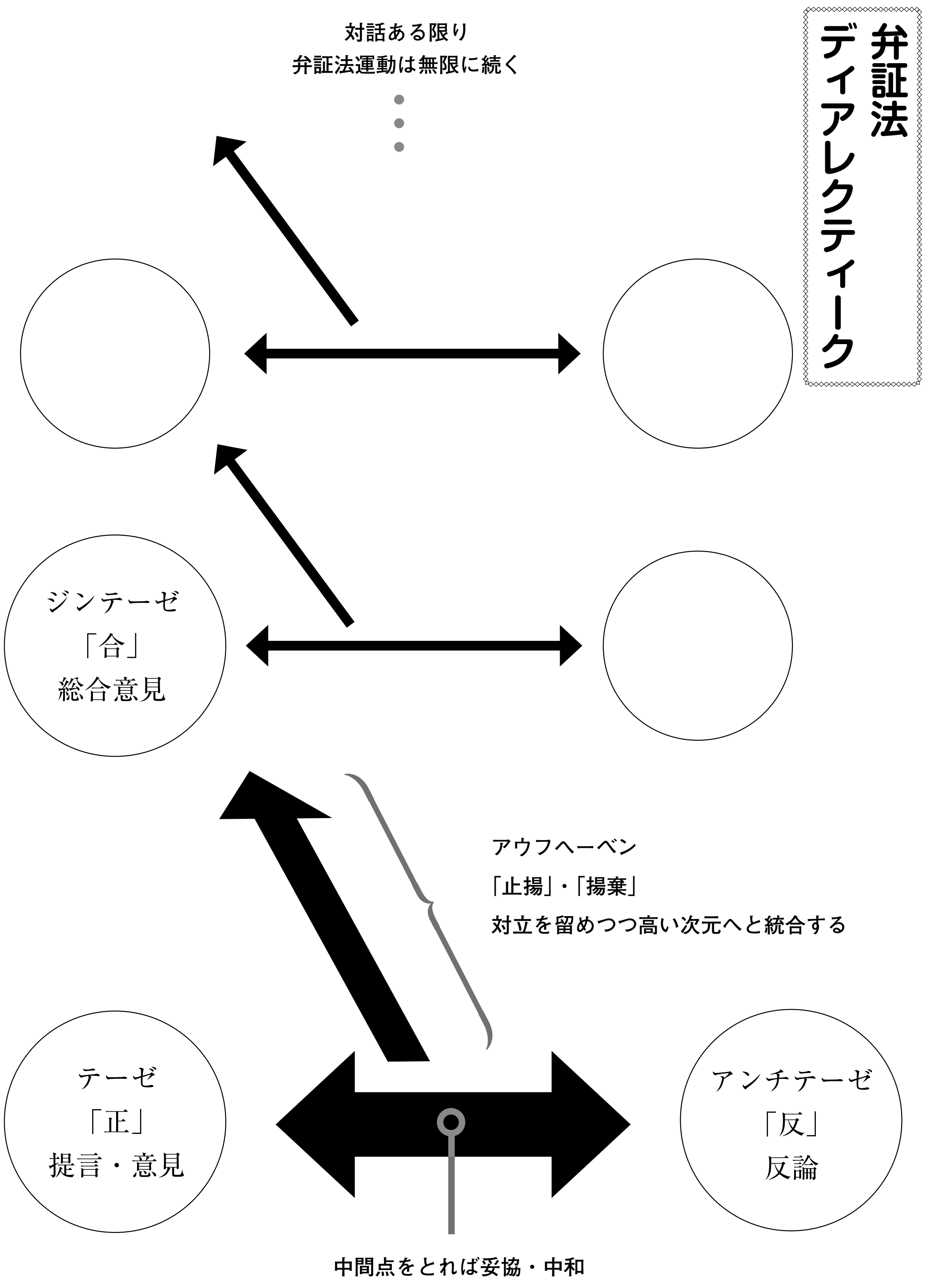
模範解答
問１＝c　問２＝c　問３＝a
問４　森羅万象をカテゴリー化して意味あるものと見ること（二十四字）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　日本文化論・弁証法



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《空欄補充・文学史》

設問文にある「上代（じょうだい）」とは、大昔の意味ですが、文学史の時代区分では、八世紀、奈良時代のことです。［A］は「神話」というヒントが本文にありますから、『古事記』が答えです。ほぼ同時期の『日本書紀』も神話的歴史書で内容的にもかぶる点が多く、〝記紀神話〟とひとまとめにする表現もありますが、『日本書紀』は大和朝廷のオフィシャル・ヒストリー（正史）です。やはり「神話」で一作品を挙げるなら『古事記』です。［C］は「歌」がヒントで『万葉集』です。

問２《空欄補充・選択肢》

B　日本のキーワード「情」が入ります。③が答えです。第一段落に「情緒的な感動や快感をもって最高の境地とし、これを最後の解決とする」「美的態度―情ということは、日本文化にいちじるしい」とあることが根拠です。この他、［B］と同じ段落の最後の文「そこにはつねに情のヴェールがかかっている」、次段落の最後の文「ひたすら情に殉じた」も裏付けになります。①の「美」では不十分です。第一段落で「美的態度」と書いたあと、「ただし」書きを付けているでしょう。「情緒」「情」のことだよ、と。さて、〝水に流す〟という慣用表現は存在します。そのため④を選んだ人もいるかもしれません。しかし、これは〝過去のいざこざをなかったことにする〟という意味で文脈に合いません。②の「喪」では、文脈に合わない上に、慣用表現としてもヘンです。〝喪（も）に服す（死者を悼（いた）み、身を慎（つつし）むこと）〟とは言っても〝喪に流す〟とは言いません。⑤の「歌」も合いません。〝歌を流す（オンエアする）〟〝歌は流れるあなたの胸に〟とは言っても〝歌に流す〟とは言いません。

D　「相手の正体を見きわめようとする［D］への要求はすくない」とありますから、日本には足りないものが入ります。比較相手のキーワードです。この点では、①「対立」、②「事実」、③「対決」、④「認識」、⑤「格闘」はすべて候補になります。そこで「相手の正体を見きわめ」と合致するかどうかが正答か誤答かの分かれ目です。したがって、④「認識」が正答です。直前部分にある「意力」「知力」の「知力」のほうですね。さらに次段落の最後の文「きびしい認識をむしろおとし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

めて、ひたすら情に殉じた」も根拠になります。②の「事実」と考えた人もいるかもしれません。しかし、見たままの「事実」ではなく、「正体を見きわめ」ですから、「認識」のほうがやはり良いです。認識は、ものごとをしっかり、深く、その意味まで理解するという意味です。

E　「もちろん」から始まって「しかし」の手前の、この空欄を含む箇所は筆者の見解ではなく、〝一般論〟ですからご注意を。鎌倉戦国、徳川時代、明治にかけては、諸外国並みに「意力」があったという部分です。「意力」「知力」のうち、Dは「知力」の言い換えでしたが、こっちは「意力」の言い換えで、しかも「感性（感情）」の反対ですから、②「意志」が正解です。①の「武勇」は外国キーワードの仲間と言えそうですが、「意力」の言い換えとは言えません。③の「質朴」は正しい対比喪失の誤りです。〝質朴・質素・素朴⟷派手・華麗・華美〟は比べられていないからです。④の「忠義」は筆者が言うところの日本キーワードですから、対比混乱の誤りになります。⑤の「道徳」は正しい対比喪失の誤りです。〝道徳⟷不道徳〟は比較になってないからです。

問３《空欄補充・選択肢》

F　日本人の性格が、「［F］に認識」するセンスに乏しく「感情的独断でわりきる」という文脈です。〝知的な認識⟷感情〟、〝［F］⟷独断（一方向主義）〟という絵に描いたような対比です。したがって⑥の「多角的」が当てはまります。

G　「感情的独断」を筆者は日本人の「性格」として語っていますが、そういうのは、日本人だけじゃなくて人間なら誰にでもあてはまるはずだ、という一般論を紹介している箇所です（筆者の意見ではありません！）。したがって、〝日本人ならでは〟ではなく〝人間なら誰でも〟に該当する言葉が入ります。③の「普遍的」ですね。〝いつでもどこでも誰にでも〟の意味ですから。

H　「事実の認識と論理づけ」がストレートに重視されるのではなく、「［H］な要求によって左右される」は、筆者が言う日

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

本人の特性です。前段落にも「きびしい認識をむしろおとしめて」とあります。「感情の欲求」「感情的独断」の言い換えです。したがって、④の「主観的」です。人の気分、情緒を意味することばですからね。②の「感傷（涙ぐむ感じ）的」も「感情」ですが、いろいろある感情の一部ですので、ここには入りません。

「主観」について、ちょっと詳しく説明しますね。もの思いをし、物事を考える主体、人間の内面から来るものが「主観」です。英語ではサブジェクトです。モノ、物体を冷静に見る「客観＝オブジェクト」と対義語を成します。ものを考える、ものを思う人間側、いかにもメインっぽい言葉なのになぜ「サブジェクト subject」「サブ」なのでしょうか。この「サブ」は補佐や補助のような脇役っぽい意味ではなく、根幹・基幹・根底・ベースを意味するものです。物の本質・根源・実体をサブスタンス substance というときの「サブ」とおんなじです。潜水艦を意味するサブマリン submarine も補助軍艦ではなく、海面下に潜むから「サブ」です。下から軍事作戦を支えるわけです。

I・J　「一方の極に［I］ヒューマニズムがあり、他方の極に［J］アナーキズムがあり」とありますから、両者は対比的です。ただし知的な「認識」ではなく、両方とも感情レベルです。感情といっても〝喜怒哀楽〟という表現があるように、対比的かつ多様です。この場合、「ヒューマニズム」、例えば人間愛に満ちたドラマやドキュメンタリーに涙を流し、そうかと思ったら「アナーキズム」、やけっぱちで暴力沙汰という感じです。喜怒哀楽のうち〝哀⟷怒〟の対比です。したがって、Iに②の「感傷（お涙ちょうだいのセンチメンタル）的」、Jに⑤の「破壊的」が入ります。

K　「ドイツではすべて［K］だが、日本にはディアレクチクはない」とありますから、「ディアレクチク」の言い換えです。本文の別の箇所からのヒントを集めれば、「対立」「対決」「二元性のきびしい矛盾」「異を立てる」などです。①の「弁証法的」です。弁証法は、対立対話（ダイアローグはディアレクチクの語源にあたる）を通して意見を高めていく思考法のことです。

問4《全体の理解・正誤問題》

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

①の「日本文化に見られる美意識は、～伝統の渾融諧和によって育まれたものだ」という、頭としっぽの部分はＯＫです。しかし「縄文文化と弥生文化にそれぞれ由来する」は×です。筆者によれば「縄文」だけは例外です。弥生から現代までが「情緒」重視文化です。したがって、対比混乱の誤りです。しかも、×とできたら得点です。やったね。

②の「他の文化ではあたりまえの事実の認識に基づく論理づけが、わが国ではこちたき言挙げとされいやしめられる傾向が著しい」は正しい対比キーワードを押さえています。第三段落にも「こちたき言挙（ことあ）げをきらい、きびしい認識をむしろおとしめて」とあり、これを裏付けています。○です。

③の「日本人の美的感覚には論理が欠けている」は、ＯＫですが、その「ために、わが国には世界に通用する価値を持つ芸術作品がなかなか生まれない」は、×です。この文章の一番初めに「日本人はむかしから世界に対して美的態度をとる傾向がつよかった。ただしこの美的というのは、かならずしも芸術的ということではなく、ましてつねに価値の高い芸術作品をつくったということではなく」とありますからね。芸術作品については話題にしてないよということです。記述に反する誤りであり、対比混乱の誤りでもあります。

④の「徳川時代に賞揚された武士道のモラルは、日本的美意識の伝統から逸脱したものだ」を○にしてしまう人が多いのですが、×です。この徳川時代は例外だという話は、問２Ｅの解説でも記した通り「もちろん」から始まる〝一般論〟で、筆者の見解ではありません。筆者の見解はそのあとの「しかし」以降で、「全体としてみると、そこ（鎌倉戦国・徳川時代など）にはつねに情のヴェールがかかっている」なのです。これを×にできた受験生はホント立派です。現代文が読めている！　誤りの選択肢の仕組みを理解している！　もう免許皆伝です。

⑤の「日本文化の本質をなすと言える美の感覚は、弥生時代から現代まで根本的にはあまり変化していない」は堂々たる筆者の主張です。○です。ゆえに、あらためて①と④は間違いになるわけです。大学側も、この区別・対比が理解できたのかを問いたいのです。

⑥の「わが国でデモクラシーが正常に機能せぬことも、日本文化に固有の美意識とけっして無関係ではない」はＯＫです。終わりから二段落目に「言論による多数決のはずのデモクラシーが、ともすると自分の集団の中では自然の一致なれあい、外にむかっては勝つか負けるかの悲壮な決意完遂（かんすい）になるのも、やはりそれ（日本の感情的独断の傾向）であろう」とあるのが根拠です。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

模範解答

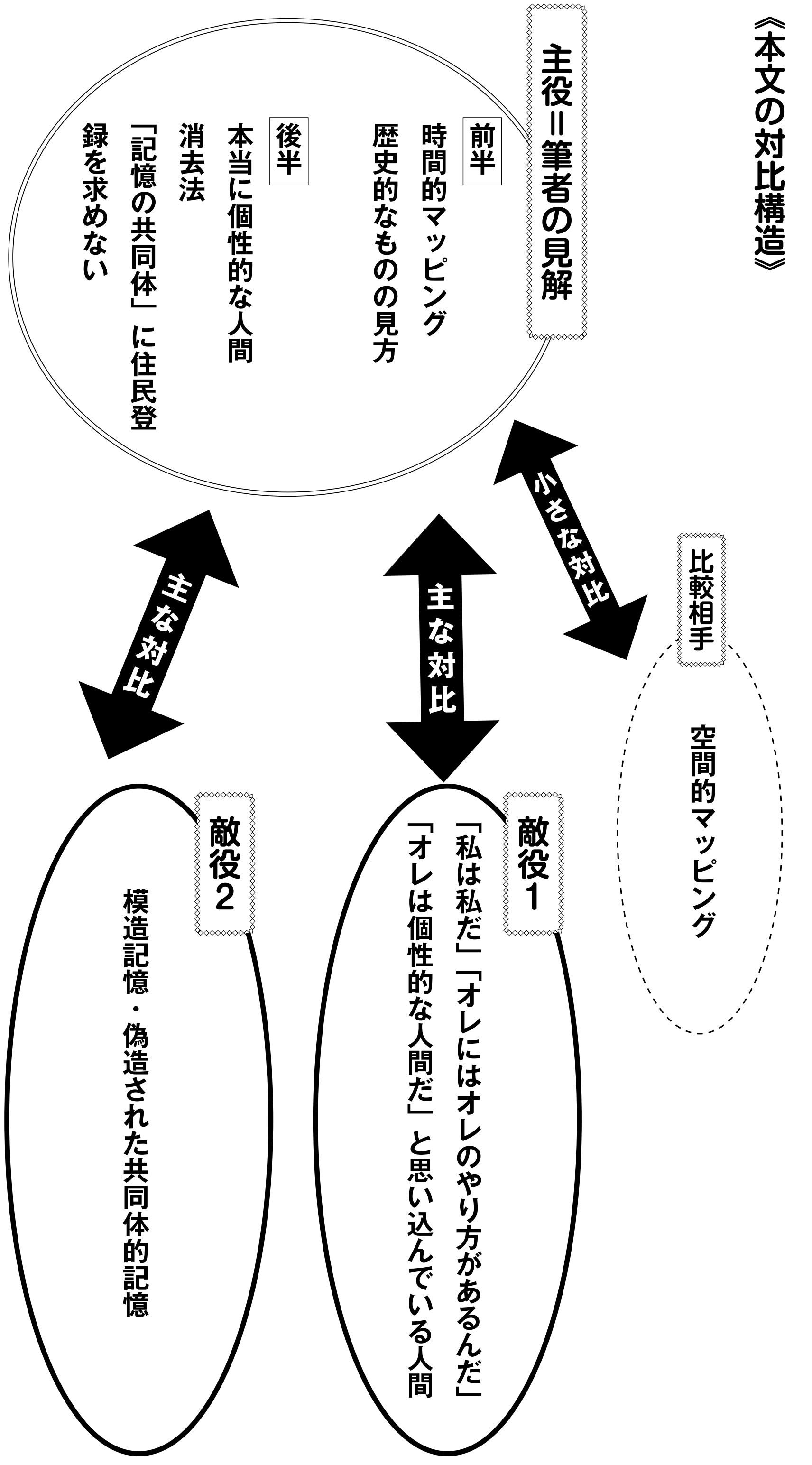
問1　A＝古事記　C＝万葉集　問2　B＝③　D＝④　E＝②

問3　F＝⑥　G＝③　H＝④　I＝②　J＝⑤　K＝①　問4　①＝×　②＝○　③＝×　④＝×　⑤＝○　⑥＝○

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　認識論・現代社会論

《本文の対比構造》



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問1《傍線部説明・選択肢》

「時間の流れの中のどこに自分はいるのか、ということ」を知るための「勉強」です。筆者のメインメッセージで、「自分がどんなふうに形成されてきたのかを見る」、「自分の『前史』を見通すということ」です。したがって、②の「前史を見通し、自分の場所を特定すること」が正解です。

他を吟味しましょう。①の「マルクス主義的な思考を実践すること」はどうか。間違いではありません。本文には、「時間の流れの中で自分を位置づけること、それが『歴史的なものの見方』というものです。マルクス主義以来、これが『思考すること』の基本」とありますからね。しかし、「マルクス主義的な思考」が、そういう「歴史的なものの見方」であることを、選択肢中で説明しないと十分ではありません。②はそれをしている。さらに、説明を加えると、「マルクス主義的な思考」は、「歴史的なものの見方」そのものではなく、その一つ、あるいはそういう考え方の傾向をつくったきっかけであるにすぎません。やはり内容そのものを語っている②が正解なのです。

③の「歴史的な出来事をよく理解すること」は、文脈喪失の誤りです。「歴史」の「勉強」と言っても、普通の日本史や世界史の勉強じゃありません。一連のナポレオン戦争という出来事についてよく理解するとか、大塩平八郎の乱について理解するのとは違います。文脈では、自分を含む歴史を見るという意味ですからね。

④の「想像的に自分の視点から離脱すること」は、「空間的マッピング」です。時間的・歴史的マッピングの方を答えないとね。はい、対比混乱の誤りです。

⑤は「自分だけのものの見方を形成すること」だって。シラジラシー！　これは肝心な「歴史的なものの見方」という「知的習慣を持っていない人」の態度ですからね。敵役ですよ。はい、典型的な対比混乱の誤りです。

問2《傍線部説明・記述》

「歴史的な発想法」という視点を取る人は「意外に少ない」のはなぜでしょう。対比で考えてみましょう。第一段落に、「空間的に自分が『どこにいるか』ということは比較的簡単に分かります。しかし、時間の流れの中のどこに自分はいるのか、という

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ことは、『勉強』しないと分かりません」とあります。そうです。簡単なら誰でも実践しますが、「勉強」しないといけないから「意外に少ない」のです。課題文の他の箇所でも「これは（自分の「前史」を知るためには）もう『勉強』するしかないのです」とあります。もう一つ、多くの人がやってしまうのは「より快適な『共同的記憶』」を「採用」することです。これを振り払うことは、「徹底的に知的な営み」で「とてもきついこと」なのです。記述解答の三原則は、〝対比の表現〟〝具体例はカット〟〝繰り返される表現は大事〟です。得点になるポイント箇所を挙げます。第一ポイントは、「簡単ではない」です。ここは「とてもきつい」「きつい」「徹底した」などでもOKです。第二ポイントは「勉強」「知的な営み」です。ただし、「勉強」は本文中でカッコを付けられて、特別な意味づけがなされていると考えれば、そのまま使うより「知的な営み」の方がよりよいです。したがって、「勉強」の方は、点にはなりますが、○．五点とします。

問３《傍線部説明・選択肢》

傍線部Cの「マッピング」は、「空間的なマッピング」ではなく「歴史的なものの見方」「時間の流れの中のマッピング」の方です。一般的には地図の中の位置づけを「マッピング」といい、時間的な位置づけについては「マッピング」という表現を使いませんが、筆者はあえて使っているのです。それが傍線部Cを含む「ぼくはよく『マッピング』ということばを使います」という箇所で宣言されています。「自分のものの見方が形成された『前史』を知ること」とも言えます。したがって、⑤の「自分のものの見方の形成過程について内省すること」が正解です。

他の選択肢を吟味してみましょう。②の「自分が地図上のどの点に位置するのか特定すること」や③の「自分というものを遠くから客観的にながめること」は「空間的マッピング」の方ですから、対比混乱の誤りです。①は、前半の「自分の来し方を思い」が時間的・歴史的マッピングですが、後半の「視点を仮設し自分を見下ろすこと」が「空間的なマッピング」です。この選択肢自体が対比混乱の誤りです。

では、④の「自分がどうすれば消え去ることになるか考えること」はどうでしょう。「時間的マッピング」のグループです。しかし、「自分の家庭や会社や共同体、その網目のどこに自分がいて、どのような機能を果たしているのか。どういう要素の複合効果として自分は出現してきたのか。条件がどういうふうに変われば自分は『消え去る』のか」という具体例のそのまた一部

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

です。選択肢選びにおいて、具体例は一段落ちるということから、正答として選びません。

問4《傍線部説明・選択肢》

傍線部Dの次の段落冒頭に「自分たちの生きている社会の成り立ちを『勉強』することによって、ある世代、ある地域集団の全体にのしかかっている『大気圧』を認識できた人間だけが、それを控除した後になお残っているものを、自分の『個性』として認知できるのです」とあります。この「控除」が差し引く、除外するという意味で「消去法」に当たるものです。では、何を「控除＝消去」するのかというと「ある世代、ある地域集団の全体にのしかかっている『大気圧』」です。「自分の記憶の中にある偽造され外部から『事後的に』注入された部分を選り出し、除去してゆく」ともあります。「大気圧」の言い換えはこれよりあとの表現だと「世代に固有の『正史』」「共同的記憶」「共同的な『模造記憶』」などがあります。したがって、①の「社会からの圧力を意識し、それを控除すること」が正解です。

他の選択肢をチェックします。②の「社会の中で自分の存在が不要になる瞬間を知ること」は笑えます。つくられた「共同的記憶」を「消去・控除・除去」して残ったものが「個性」と呼べるものなのですが、何も残らず、「自分の存在」も「不要」と思ってしまったわけですね。記述に反する誤りです。③の「他人との比較の中で自分の個性を浮かびあがらせる」や、④の「自分と世界との関係を構築し直す」では「消去法」になりませんね。記述に反する誤りです。周りの共同体にもどるという点では、対比混乱の誤りです。⑤の「歴史の中から自分と無関係の事実を消していく」はどうでしょう。正しくは「自分の記憶」の洗い出しですからね。「歴史」ではありません。ナポレオン＝ボナパルトやジョルジュ＝ジャック＝ダントンやマキシミリアン＝ロベスピエールやハンス＝アクセル＝フォン＝フェルゼンは、「自分と無関係」だからと消去されては困ります。はい、記述に反する誤りです。さらに消去するのは「自分と無関係の事実」ではなく、共通の「共同的記憶」です。

問5《傍線部説明・選択肢》

「住民登録」は、偽造された「記憶の共同体」に「オレ」を登録することですから、敵役キーワードですよ。①の「偽りの記憶を正確なものにする」は、「偽り⟷正確」が正しい対比喪失の誤りです。多くの人は、つくられた「模造記憶」をそうと認識せ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ずに「内面化（自分のものとして心に吸収すること）」しています。〝不正確なものを正確に〟しようとしているわけではありません。また、本文中の「偽りの記憶」とはつくられた「模造記憶」という意味です。この点では、文脈喪失の誤りです。

③は「どの世代にも共通する」が×です。正しくは「ある世代、ある地域集団」です。不当な全称判断です。本文に「すべての世代はその世代に固有の『正史』を持っています」とありますが、全世代共通のものがドカンと一つあるというのではなく、どの世代にもそれぞれの「正史（つくられたものなのに共有していると信じられている記憶のこと）」があると言っているのです。

④の「メディアによってつくられた現象を誇張する」はどうでしょうか。メディアがつくったテレビ番組について、かつて見ていた頻度を「誇張」するという表現は本文中にありますが、「メディアによってつくられた現象を」ということではありません。また、「メディアでは人々が『個性的に』ということを実にお気楽に口にしています」という表現が本文にはありますが、やはり「誇張」の対象ではありません。したがって、記述に反する誤りです。

⑤の「共有された記憶から個性的な記憶を模造する」は、なんだかヘンな記述ですね。「共有された記憶」自体が「模造記憶」なのですから。記述に反する誤りということになります。また、「個性的（「ほんとうに個性的」の方）」と混ぜている点では、対比混乱の誤りです。こういうわけで、②の「『オレたち』という幻想の中に紛れ込むこと」が正解です。

問6《傍線部説明・選択肢》

「ほんとうに個性的な人間」は筆者側のキーワードです。さて、①の「一人で徹底的に考え抜く人間」では、「マッピング」が脱落しています。記述に反する誤り、対比混乱の誤りです。②は「マッピング」に触れていますが、「空間的マッピング」か「時間的」「歴史的」マッピングか明らかではなく十分ではありません。あえて言うと対比相手が混じる可能性がありますから、対比混乱の誤りとなりえ、その点で不十分です。③の「誰からも理解されなくても自分を貫く人間」は、どうか。「誰からも理解されなくても」は、OKです。共同的な模造記憶に埋没しないためには、大事です。しかし、「自分を貫く人間」は×です。本文には、「今の自分のものの見方や考え方を絶対視する人とは、要するに『マッピング』する知的習慣を持っていない人のことです」とありますからね。記述に反する誤りと言っても対比混乱の誤りと呼んでもよいです。

では、④か⑤か。こうした悩ましい選択肢を用意している点が難関大の特徴とも言えます。④の「自分がどのように形成され

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

てきたか意識できる人間」は、歴史的マッピングで、筆者の見解です。しかし、これは前半の内容です。「共同的記憶」「模造記憶」「偽造された共同的記憶」への批判や乗り越えを語った後半とピッタリ合致するとは言えません。また、自分や自分たちの同世代がどんな歴史的な形成のされ方をしたのかを考えるとともに、その上で「共同的記憶」を除去することが大事ですから、「自分がどのように形成されてきたか意識できる人間」は、全然間違いではありませんが、部分的指摘の誤りということで選びたくないわけです。「個性的であるというのは、『記憶の共同体』への住民登録を求めないということです」と傍点をつけて筆者が強調しているように⑤の「共同的記憶を振り払える人間」が正解です。

模範解答

問1＝②　問2＝簡単ではない知的営みだから。（十四字）
問3＝⑤　問4＝①　問5＝②　問6＝⑤

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　解答　第一講

（ア）③　（イ）②　（ウ）④　（エ）⑤　（オ）①
（カ）①　（キ）②　（ク）⑤　（ケ）④　（コ）③

解答漢字一覧

（ア）家庭欄　（イ）連載　（ウ）安泰　（エ）制約　（オ）閉鎖
（カ）征服　（キ）規定　（ク）勘案　（ケ）円滑　（コ）険悪

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　解答　第二講

（ア）④　（イ）②　（ウ）②　（エ）③　（オ）⑤
（カ）②　（キ）①　（ク）③　（ケ）⑤　（コ）②
（サ）d　（シ）a　（ス）b

解答漢字一覧

（ア）狼藉　（イ）倹約　（ウ）評判　（エ）憤激　（オ）依頼
（カ）邪魔者　（キ）懐中　（ク）豪傑　（ケ）落第　（コ）周旋

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　解答　第三講

（ア）⑤　（イ）③　（ウ）④　（エ）③　（オ）②
（カ）④　（キ）①　（ク）②　（ケ）④　（コ）②

解答漢字一覧

（ア）根拠　（イ）複雑　（ウ）推定　（エ）集積　（オ）目録
（カ）冒頭　（キ）分節　（ク）遺産　（ケ）褐色　（コ）命名

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　解答　第四講

（ア）③　（イ）①　（ウ）④　（エ）⑤　（オ）⑤
（カ）④　（キ）①　（ク）③　（ケ）③　（コ）③

解答漢字一覧

（ア）情緒　（イ）検討　（ウ）画一　（エ）余地　（オ）完遂
（カ）巧緻　（キ）忠誠　（ク）精進　（ケ）廉恥　（コ）趣味

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　解答　第五講

（ア）③　（イ）③　（ウ）⑤　（エ）②　（オ）⑤
（カ）④　（キ）②　（ク）④　（ケ）③　（コ）①

解答漢字一覧

（ア）遊離　（イ）控除　（ウ）覚悟　（エ）偽造　（オ）採用
（カ）模造　（キ）固有　（ク）宴会　（ケ）誇張　（コ）登録

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。